夕刊
臺灣日日新報
三月九日

ラングーンを完全に占領

緬甸作戰主目的達成

頑敵を撃滅、八日敵都突入

【東京發同盟至急報】大本營發表（九日午前十一時十五分）ビルマ方面帝國陸軍部隊はペグ及びラングーン附近において敵軍主力を撃滅し七日午後ペグを八日午前十時ラングーンを完全に占領せり

【註】ビルマ方面陸軍部隊は二月十日マルタバンを占領後わが企圖を秘匿しつつ所在の敵を撃碎して果敢なる進撃を續行し二月十六日乃至十九日に至る間ビリン河畔において執拗なる抵抗を續けし一師團强の敵を撃破し更に急追してシッタン河以東の地區にこれを捕捉殲滅し三月二日夜以降逐次シッタン河を敵前渡河し三月三日夜よりラングーン攻略戰を開始せるものにしてラングーン攻略によりここにビルマ方面作戰の主目的を達成するに至れり

【ビルマ戰線〇〇九日發同盟至急報】ペグ及びラウガ方面よりラングーンを攻撃中のわが軍精鋭部隊は八日午前敵都ラングーン市に突入同日午前十時これを完全に占領した

ロンドン蘭印間の海底電信連絡杜絶

【リスボン八日發同盟】ロイター通信ロンドン電によればロンドン蘭印間海底電信連絡は七日午後より杜絶した

シッタン河敵前渡河

【〇〇基地九日發同盟】シッタン河東方地區モパリン南北の線に滿を持してゐたわが〇〇、〇〇各部隊は廿六日夜突如シッタン河の敵前渡河を敢行その一部はチョンエンを占領また他の有力部隊はカラギャングの線を突破いづれも疾風の猛進を續けてゐる、兩部隊は既にビルマ戰線最大據點ラングーンを隔てて東方五十粁に肉薄した譯でラングーンの運命は風前の燈火と化するに至つた

【〇〇基地九日發同盟】ビリン・チャイトの敵據點を突破して一路ラングーンへ進撃を續けてゐるわが〇〇、〇〇各部隊は去る廿六日突如世界注視するシッタン河敵前渡河を敢行以來引續き敵最後の牙城を目ざし猛進撃したのである

七日ペグを完全占領

【ペグ郊外にて九日發同盟】敵ラングーン防衛の第一線據點ペグ市を包圍三方より猛攻を重ね七日早朝市街の一角に突入したわが精鋭各部隊は頑敵の抵抗を制壓七日午後四時これを完全に占領した、各部隊は引續き潰走する敵を急追、掃滅戰を續行中

【ビルマ前線〇〇九日發同盟】東北及び南北よりペグの包圍態勢を整へたわが軍は六日拂曉を期していよいよペグ總攻撃を開始し、既に同地周邊の陣地帶に迫つた、ペグ河一帶は殷々たる彼我の砲聲が耳を聾するばかりで目下激戰を展開中である

チノマジンを占領

【ビルマ前線〇〇九日發同盟】六日早朝を期してラングーン防衛の最大據點ペグにある四千の敵に對し攻撃の火蓋を切つたわが精鋭な東北、西北兩方面より猛砲撃を展開すると共に一部隊を以つて西南方迂廻態勢を完成、その一隊は六日夜ペグ西方二粁の地點に對し猛攻、同日夕刻ペグ西南チノマジンを占領、敵退路の遮斷に成功、七日午前七時遂にペグ市西南部に突入、目下市内の頭部に對し猛攻中である

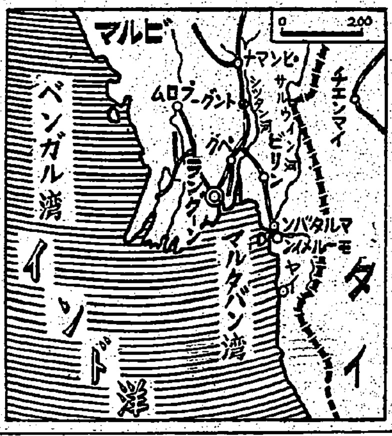
緬甸方面陸軍最高指揮官 飯田陸軍中將

【東京發同盟至急報】大本營發表（九日午前十一時二十分）ビルマ方面陸軍最高指揮官は陸軍中將飯田祥二郎なり

飯田指揮官

佛印平和進駐に偉勳

【東京發同盟】飯田祥二郎中將は山口縣の産、陸士卒業後歩兵第四十二聯隊附となり大正四年陸大を卒業、八年參謀本部員を經て十年臨時へ出張、十一年陸軍歩兵學校研究部主事兼教官、昭和五年師團參謀、八年[illegible]參謀本部員、九年聯隊長、十年部隊參謀長、十三年の支那事變勃發當初には杉山陸相、梅津次官の下に兵務局長として約一箇年中央部の要職に參畫し翌十三年現地第一線の要職に補せられ出征、その後足掛け三年南支方面で縱橫無盡の活躍を遂げ昨年七月には世界注視の裡に斷行された南部佛印平和進駐の陸軍最高指揮官として[illegible]内外の[illegible]を通じてもつとも氣の若い軍司令官として堂々たる偉容を[illegible]士官學校出身の同期生には木村陸軍次官を始め[illegible]香港方面陸軍最高指揮官酒井陸軍中將などがあり、寡默、常に静かに讀書を樂しむといつた反面斗酒なほ辭せずの豪膽な將軍である



海荒鷲眞珠港を奇襲

海軍工廠重要箇所爆碎

【東京發同盟至急報】大本營發表（九日午前十時五十分）帝國海軍航空部隊は三月四日夜半ハワイ眞珠港を奇襲し同港復舊工事に狂奔中の敵海軍工廠に數噸の命中彈を浴せその重要箇所を爆碎せり、わが方敵の照射砲撃をうけたるも被害無し

敵の復舊企圖に大痛棒

【東京發同盟】帝國海軍航空部隊は三月四日夜半ハワイ眞珠港の[illegible]奇襲攻撃に成功、同港の海軍工廠その他重要施設[illegible]米國政府も昨年十二月八日[illegible]ハワイ大海戰によつてうけた大損害の痛手[illegible]復舊を企圖し着々復舊工事に狂奔するとともに一方國内においてはこの[illegible]しつつあつた矢先四日の再度の奇襲攻撃はこの敵の企圖に一大痛棒を加へたものでその[illegible]大なるものがあらう、また[illegible]

爪哇島敵船殆ど覆滅

一日より八日まで 五十二隻、廿一萬噸撃沈破

【東京發同盟至急報】大本營發表（九日午前零時十分）ジャバ島攻略作戰に行動中の帝國海軍部隊は三月一日より三月八日に亙りジャバ島周邊海上並に印度洋に脱出又は救援企圖中の敵船五十二隻約二十一萬トンを撃沈破しその殆どを覆滅せり

皇軍蘭貢市を占領【寫眞はビルマ政廳】

緬甸制空權完全掌握

【〇〇基地九日發同盟】ラングーン陥落とともにビルマの制空權は今や完全にわが手中に歸した、即ち敵はラングーン周邊にミンガラドン、レグ、[illegible]飛行場（ラングーン北方十五粁）北飛行場の四飛行場を設置、ミンガラドン飛行場はその近代的設備の完備せる點、敵空軍の誇りとせるものであつたが、既往に至るわが正確なる爆撃によりこれら四飛行場とも滑走路、格納庫は完膚なきまでに破壊せられ使用不能となつてゐたところ、八日地上部隊のラングーン突入とともに直ちに占領せられ友軍機が早くも續々と飛來、有力なるわが飛行基地となつてゐる

援蔣鐵路完全遮斷

パヤヂを占領

【ビルマ戰線〇〇九日發同盟】シッタン河渡河後直ちに西進去る一日ワウを占領したわが精鋭は四日ラングーン、トングー街道上の要地パヤヂにあつた敵陣地三十餘、迫撃砲などを有する約五百の敵の背後を急襲攻撃敵戰車三臺を擱坐炎上せしめて同日午後一時三十分パヤヂを完全に占領ビルマルート卽ちラングーン、トングー街道並びにこれに沿ふ鐵道の完全遮斷に成功した

蘭貢驛感激の日章旗

【ビルマ前線〇〇九日發同盟】敵都ラングーンは八日午前十時遂にわが精鋭の占領するところとなつたが、ラングーン急襲部隊は先月末シッタン河を渡河後パヤヂ北方にあつてラングーン、マンダレー鐵路を遮斷して後同鐵路西方山地帶に入り企圖を秘しつつ密林中の大迂回行軍を行ひ、レグ附近よりラングーン北方に突如その姿を現はしたもので附近の敵陣を一擧に突破して後、七日午後九時を過してラングーン總攻撃の火蓋を切つたのであつた、同部隊は左右兩隊に分れ右翼隊はラングーン北方一一八〇高地より行動を開始ミンガラドン附近の敵陣左側を急襲瞬時にしてこれを占領、直ちにビクトリア湖西方地區に進出、一部を以てラングーン河左岸地區からラングーン周邊敵地の左背後を脅威する態勢をとつた、一方左翼隊は同時刻ニトウシヤンズ附近より攻撃前進を行ひ、先づミンガラドン敵陣の左背後を衝き一擧にビクトリア湖西側に進出するに成功、ミンガラドン兵營及び同飛行場を急襲狼狽する敵を急追、八日早朝遂に目ざすラングーン市街一角に突入輝くラングーン一番乘りに成功援蔣ルートの據點として支那事變五ケ年間わが國民の腦裡を離れなかつたラングーン驛屋上に感激の日章旗を樹立したのである

後方からペグ夜襲

蘭貢防衛據點を潰滅

【ペグ郊外にて九日發同盟】敵はペグに有力なる機械化部隊を配してわれに反攻を策したがペグはシッタン河渡河後僅か一週間包圍攻撃一日にして陥落わが掌中に落ちたがそれはペグ市がビルマに於ける重要據點たるに止まらず、いはゆるビルマルート上の最大要衝であつた、從つて敵はここをラングーン防衛第一線基地として濠洲兵、印度兵、英兵數千、戰車等機械化兵器多數を配してゐたのであるがわが軍はこの線に正面からぶつかるものと考へた敵の作戰計畫の裏をかき北方においてマンダレー鐵路の要衝を突破せる後山中に入り密かにペグ市西方を後方から夜襲を敢行、更にラングーンに通ずる敵退路を斷つて完全包圍したため遂に潰亂となつてラングーン防衛の據點[illegible]わが掌中に落ちたのである

爪哇失陥・英側確認

【リスボン八日發同盟】ロンドン情報を綜合するにバンドン放送局がジャバ時間七日午後七時四十五分ウイルヘルミナ女王に對する悲痛な決別の辭を最後に放送を停止してよりジャバ全島の交戰は既に終了したとの印象を受け公表を待つまでもなく一般に同島の失陥を認めてゐる、BBC放送局の如きもロンドン時間八日午後二時（日本時間八日午後十一時）の放送でジャバ失陥を認めると共にその悲報から國民の注意を他へそらすため頻りに他の戰線活況を報じ次の通り報道した

ジャバ島の戰鬪は蘭印の敗北に歸したが他の地區スマトラ、ボルネオ、セレベス及びチモールでは戰鬪が續けられてゐる

一方デーリーエキスプレス紙は八日の紙上でジャバの失陥に關聯して次の如く悲觀的觀測を行つてゐる

シンガポールを失ひ、バタビヤを失ひ次ぎ次ぎの敗戰に英帝國は深刻な打撃を被るに至つた、目前に火がついてゐるのに一九四三年、四四年、四五年の計畫を喋々するのは無益の骨頂だ、ただ英國民にとつて唯一の慰安はこれら失陥地點が英本國より遙か彼方にあることだ、然し英本國人にとつても結局に於て日本より受ける痛撃が身に沁みてこたへる日が來よう

爪哇敵空軍潰滅

增援の戰鬪機來らず

【リスボン六日發同盟】大東亞戰爭勃發當時シンガポールにあつて皇軍のマレー進撃並にシンガポール攻略の戰況を報道、比較的公正な見方を以て戰況を打電してゐたUP通信シンガポール特派員ガードは同軍港陥落の直前バタビヤに逃避してゐたが、皇軍のジャバ島上陸を豫想して濠洲に逃れ六日メルボルンに到着、皇軍上陸直前の蘭印空軍の劣勢並に日本航空隊の蘭印空軍に對した攻撃振りを左の如く語つた

蘭印では優勢な日本戰鬪機隊の壓力をひしひしと感じてゐた、蘭印の最も必要とする戰鬪機は豫期してゐた程援助されなかつたし米國製飛行機の多數は日本軍の空襲で大部分地上で爆破されてしまつた、現に自分達がバタビヤを發つた日の午後にも米國から飛行機の救援が近くことになつてゐたが、日本航空部隊はその到着豫定時刻の直前飛行場に現はれ滑走路を滅茶々々に破壊してしまつた、ジャバ島防衛の惱みはマレーのそれと全く同じである、ジャバには英米の飛行士が澤山ゐたが乘るべき飛行機がない、又爆撃機の護衛なしで爆撃機を飛ばす事が如何に高價なものだかは判り切つたことだ、米國の爆撃機は戰鬪機がないために既にジャバ島から他の地點に移されてしまつた

緬甸英軍、重慶に增援要請

【ベルリン八日發同盟】DNB通信の入手した情報によればビリン河の渡河に成功した日本軍は反樞軸聯合軍がラングーン防衛上最後の據點と恃む英軍の陣地シッタン河の線に進出したと言はれる、しかして同方面に對する日本軍の重壓は更に加はりラングーン市民は今や戰々兢々たる有様で英軍は頽勢挽回のため重慶政權に對し增援部隊の至急派遣を要請したといはれる

親日の住民に對し

敵腹癒せの空爆

蘭印軍惡辣な焦土戰術

【〇〇基地五日發同盟】ジャバ島各地の皇軍の進撃は驚異的速度をもつて行はれ東西の要衝は次々と攻略されつつあるがこの作戰進捗の際にはわが完璧の航空援護と土着住民の著しい親日感情が大きな力となつてゐる、即ちわが航空部隊連日の活躍に多く屈伏した蘭印空軍はジャバ島西部地區には此所彼処と姿を見せず僅に昨四日朝〇〇附近へ若干の敵機が現はれたに過ぎぬがこの時同地には皇軍を歡迎して多數の土着住民が集まり皇軍將士を接待してゐたのに對し敵機は住民の家を目標けて銃撃を加へ死傷者を出した、これに對して住民の憤激はその極に達してゐる一方わが宣撫工作はめざましく奏功し各占領地では蘭人土着住民の官公吏をそのまま殘留せしめて行政事務をとらせてゐる狀態である、敵は豫定の退却、住民の親日とのためわが方の情況偵察に甚だしく困難を感じてゐる模様で專ら消極的抵抗をなすに止まり焦土戰術の一途に出てゐる、これがためセランバタビヤ間の道路は全く破壊されバタビヤの埠頭も破壊炎上しつつある

緬甸公路南段の交通停止

【ベルン（スイス）八日發同盟】UPマンダレー情報によれば日本軍は强力な增援部隊をシッタン河前線に派遣英軍陣地に向つて猛烈な攻撃を加へつつあり、英軍は激烈な白兵戰の後同河東岸の陣地を放棄した、日本軍精鋭部隊は英軍の側面を攻撃これを後退の餘儀なきに至らしめてゐる、軍事専門家の言によれば日本軍はラングーン十五粁の地點に進出したビルマ公路南段の交通は全面的に停止するに至つた

府勅任增員二

七月頃には實現

資格擴張に依る官吏優遇の中央の方針に則り督府に於ても明年度豫算の勅任官二名の增員を計上追つて官制も改正を見て本年七月頃には實現の見込となつてゐるが右勅任二名の增員は府内の重要課長ポストにある奏任官の格上げと同時に其の定員の振替えに依つて行はれるもので從つて實際的には人員の增加とはならないことになる、之に依り督府の勅任定員は既に豫算上を見た山地局新設計畫に基く勅任一名增員と併せ結局三名の增加を見る譯で右官吏優遇の方針は判任官にも及ぼされ理事官級が相當數增員が行はれることになつてゐる

定例局部長會議

督府定例局部長會議は九日午前十時半より長官公室に於て開催、南方臨戰兩部長に關聯して香港に於ける物資通信關係につき協議の後、内外各般の協議につき森田情報課長より報告等あつて正午頃終了した

人事

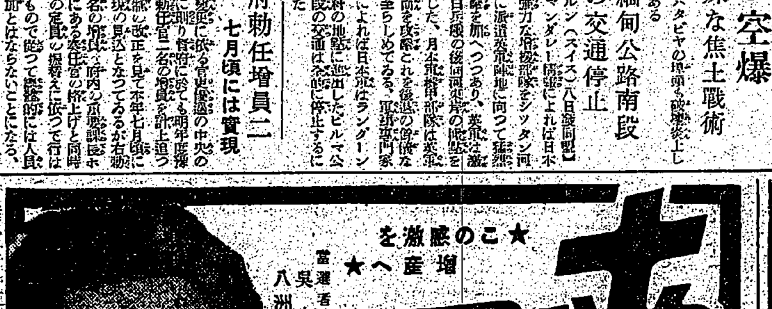
▲副見交通課長　公務を帶び十日基隆上京

株式會社 吉田萬年筆店
コロムビア
萬年筆
各一圓以上

戰ひ拔かう大東亞戰
特效 外傷 霜やけ あかぎれ 腸肌 頭痛 神經痛
價 二十五錢 四十五錢 九十錢
メンソレータム

液体調味料
味のホン
製造元 東京・築地
發賣元 [illegible]

シミズ イタマズ
ロート目藥
【適應症】結膜炎 角膜炎 トラホーム 疲勞 學校 近視 [illegible]



★この感激を増産へ★
南國の唄
吾等が台灣の讃歌
斷然ヒット!!
作詞 [illegible] 作曲 [illegible]
支那メロディーの女王 服部富子
テイチクレコード

☆治療の要諦
化膿菌に對して劃期的治効を顯はしてゐるズルホンアミド劑の撰定に當つては其の化學的純度高きものを採る事が治療の要諦であります。
☆ポレオン「日染」は二基ズルホンアミド劑の純正品にして注射内服に依り左記諸疾患に對して的確に奏効するのが特徴であります。
NISSEN
適應症 淋疾 膀胱炎 中耳炎 丹毒 [illegible]
日染ポレオン

不眠不休六十時間　殘敵三千を殲滅

シッタン河畔　蘭貢の防衛陣粉碎

【シッタン河畔にてペリン九日發同盟】ビリン河からシッタン河邊に死物狂ひの英軍を追詰めつゝ五十キロを六十時間不眠不休の猛追撃を續け遂にシッタン河以東の殘敵三千を袋の鼠としこれを殲滅したわが佐藤、坂本、高信、杉浦、春田、藤谷各部隊の

奮戰 ぶりこそビルマ作戰に輝く偉功を建てたものでラングーン防衛の要衝を完全に粉碎したものであつた、二月二十日夜やゝ明けてわが攻撃は敗走する敵軍を追つて急追撃を開始ビリン河からシッタン河に至る五十キロの坦々たる鋪裝道路を僅一キロ程歩いたばかりで再びジャングル地帶に入つたわが軍は山砲を進め[illegible]ジャングルを踏破、糧秣を運び急行[illegible]二十二日夕刻遂にシッタン河畔のモパリン[illegible]を占領した、この時平林中尉の指揮する一隊は敵退路に[illegible]挑み遂に平林中尉は壯烈な戰死を遂げたが敵戰車隊を撃破する偉功を建てたのであつた、攻撃開始以來六十時間殆ど寢ず食はず不眠不休の追撃は[illegible]三千の敵退路遮斷に成功した、越えて二十三日未明佐藤部隊は退路を

確保 せんとして機械化部隊等あらゆる銃火器を動員して必死の防戰に努める英軍に對し攻撃を開始得意の夜襲を試み、銃劍を振りかざして決死の突入を試み敵もまた頑強に抵抗遂に二十三日拂曉わが先遣部隊が[illegible]ところ僅に二、三十米に迫つた瞬間、英軍は自ら鐵橋を爆破シッタン河以東に殘つた三千の英軍を犧牲にしたのである、退路を斷たれた敵は或ひは降伏し或ひは殲滅され僅に一部が濡れ鼠となつてシッタン河を泳ぎ渡つて逃れたのみであつた

不時着の海鷲生還

黒い住民の嬉しい親日振り

【東京發同盟】〇〇基地にて八日[illegible]ニューギニア島北方沖海戰で奮戰に輝くわが最新鋭攻撃隊の勇士達はこの偉功に驕らずいよく勝つて兜の緒を締めて次の攻撃命令に待機してゐる、同海戰に參加して

歸還 の途中不時着陸隊から脱落し〇〇基地全員がその運命を案じてゐた〇〇機はいづれも救助され、めでたく基地に生還した以下は不時着生還者の若き海鷲が語つた體驗談だ

▲その一 ちやうど敵二機を撃墜した直後だつた、われらも赤右タンクと右エンジンに被彈してスピードがぐつと落ちて來た、もう[illegible]には隨いて行けぬ、一旦海面すれ／＼まで降下した、その時、敵二機が執拗に喰ひ下つて來る、しかし間もなく敵二機は逃げ去り殘りの一機（[illegible]）がなほわれらに同航してゐるが射つて來ない、われらも赤射ち盡して彈丸がない、機内に落ちてゐる彈丸を拾ひ集めて[illegible]敵の胴を狙つた、敵機は[illegible]同航してゐるに過ぎないやうだ、小うるさい敵機だ、左一ぱいに急旋回して敵の

進路 を頭から押へて射撃[illegible]

[illegible]するも敵は慌てて逃げ出した、燃料も[illegible]時間しかない、行ける所まで行くのだと飛んでゐると天候も悪くなつて來る、陽が落ちて邊りはもう暗い、その内油が切れた、覺悟して海中に不時着する、敵の飛彈で穴の開いた[illegible]はだん／＼沈んで行く、生き殘つたわれらは[illegible]の上に上つた、邊りは眞暗だ、信號拳銃を發射し殘つた彈丸を詰めた拳銃を夜空に射ち上げたりすると點滅する火が見える、眞黒い影がこつちにやつて來るやうだ、敵か味方か、われらはぢつと目を据ゑた、そして"おーい"と叫ぶと"頑張れー"とはつきり返事が聞える、わが乗機だ、嬉しかつた聲を限りにどなり返した、"頑張るゾー"とかうしてわれらは救はれたのだ

▲その二 軍歌を歌つて歸途に就いた、われわれは右發動機をやられて片肺だ、[illegible]は好餌とばかり群がり寄せて來た、[illegible]

四十分、タンクに穴が開いた、生命の燃料が流れてゐる、燃料がなくなつて〇〇島沖に不時着した、われわれはほつとして陸に上つたが、椰子林から黒い

住民 が飛つて來て、ガヤガヤ言つてゐる、われ／＼に[illegible]て害意がないやうなので呼び寄せて「ジャパニーズ、ネヴィー」と言つてやるとよく判つたらしい、それからは椰子の實を持つて來たり、よく親身になつて世話して呉れた、その夜の内に[illegible]の重要部分、重要書類等を[illegible]し、機上戰死した[illegible]の遺骸を背負つて陸に上げ心からなるお通夜をした翌二十二日朝は雨が降つてゐたが友軍機の爆音らしいものを聞いたそれから間もなく偵察機が飛來した機上から[illegible]と一しよに[illegible]を降下して呉れた、[illegible]の紙片には『明日救助に來る』と書いてある、有難かつた、昨夜來全く食慾がなかつたのに[illegible]空腹を感じて來た、[illegible]のうまかつたことといつたらない、この夜戰友の遺骸を[illegible]に附した、二十三日朝飛行艇が來た、われ／＼は救はれて直ぐ基地に歸つて[illegible]撃沈の手柄を語り合ふ身の幸福をしみ／＼と味はつた、戰死した名譽の戰友もきつと草葉のかげでこの戰果を喜んでゐるに違ひない

息詰る思ひで待つ　魚雷命中の轟音

潜水艦乗組員に聴く實戰談

【東京發同盟】〇〇基地七日林（信）海軍報道班員發　廣い水域を舞臺に敵艦隊撃滅の重任を擔ふわが潜水艦の勇士達はいふ

戰爭の時も訓練の時もあまり變りはない、しかし戰爭の時は敵をやつつけた時の喜びが伴ふし、やはり戰爭の方が面白いです

〇〇基地へ歸つて來た潜水艦の勇士から聞いた話題は數々―潜水艦乗りは話は下手であるがといひながら語るこれは實戰談である

Y艦長　人間は時々妙な錯覺に陷る、敵驅逐艦に悟られる時われわれはエンヂンを止めて海底に鎭座する、その時兎に角こちらから音を出せば敵の聽音機で所在を發見されるのだから一切動けない、かうしてじつとしてゐるのも苦痛なもので艦内では話し聲もぴたりと停つてしまふ、まさかこの話聲が外に聞える譯はないのだがねえ

O艦長　さういつた長い潜航の後ラジオを聞くのも楽しい、日本の音樂が聞え出すと皆で手を組んで聞いてゐる、〇〇を占領したとか東京で何があつたとか一々手帳にひかへて一日中の話題にするのだから海底に潜つてゐるわれわれが日本にゐる人よりも消息に詳しい位だ[illegible]

T司令　どんなに辛くとも皆悲鳴を上げない、せめて寒いですなと一言でもいひ出しさうなものだがそれも絶對にいはない

G機關長　暑さが續くと食慾が減る、しかし辛抱して食つてゐる頭痛の時はお茶づけで流し込むのだが皆それもしない、果物があればいいがそれも[illegible]

K水雷長　何が嬉しいといつても敵にうまく魚雷をぶつ放けた時[illegible]しさは例へやうがない、毎日のやうに手入れ整備し愛し一つ一つの魚雷の性質まで呑み込んでゐるわれ／＼です、敵發見と共にうんと大きくものをいつてくれと魚雷を抱くやうにして頼みます、艦長の觀測はよしとこぞとぶつ放してから千秒、二千秒[illegible]正に息詰る思ひです、やがてどーんと敵艦に命中轟然たる音響が艦壁に傳はると暫らくは誰も一言も發しません、演習では味はへぬ[illegible]

蘭貢の空に心から祝辭を送りたい

井上軍報道部長喜びを語る

（寫眞說明）飯田中將に[illegible]

ビルマ戰線皇軍輝く進撃の前に遂に八日午前十時首都ラングーンは我が軍門に屈伏し、その最高指揮官、九日午前十一時二十分大本營より發表、飯田祥二郎中將が全國民の感激裡にその雄姿をぬいだ

"わしは嬉しいゾ、他人事とは思へぬ氣がせんで"

幼年學校時代から同期生で無二の親友であつたと云はれる臺灣軍報道部長井上直衛少將はこの朗報に[illegible]九日正午壽參に笑つたとどのないそのいかめしい顏を、けふばかりは嬉しくて堪まらぬと言つた様な[illegible]に綻ばせて語るのである

わしと飯田とは同期の二十期なんだが、若い時から大の仲良しだつた、莫逆の友と言ふ奴ぢやらう、猛將軍の名に恥しくない彼なんだが、その反面稀めて温厚な男でナ、友情に厚いといふ點ではわしの知友の中でも特筆大書すべき存在ぢやつた、御父君の飯田將軍も[illegible]の人だが、飯田は山口[illegible]として勝ぜられた、その折の任地は猛暑の地で就中私が仕へた[illegible]

そして決して部下を叱られた事[illegible]

嘗つての殿役には武將として功名を建てた偉い方ぢやつた、色と飯田の想ひ出は[illegible]持つてゐるが、時機が時機だから北めとくが、兎に角ラングーン攻略に彼にして始めて爲し得たことだとわしは[illegible]してゐる、飯田よくやつた―心からわしはビルマの空にさう大聲で祝辭を送りたい、このわしが[illegible]とつたやうな[illegible]（寫眞は井上少將）

謹嚴・典型的な武將

嘗つての部下長友大尉談

ビルマ方面陸軍最高指揮官飯田祥二郎中將が嘗つて[illegible]方面部隊長だつた當時約六ヶ月間飯田中將の直接指導を受け日夜側近に在つた臺灣軍司令部附陸軍大尉長友衛三郎氏は感激深く"謹嚴、實直によい司令官でした"と左の如く將軍の[illegible]を語つた

閣下には朝夕直接指導を受けた將軍だつた、任務の性質上日夜を分たず私は[illegible]掛つたが何時參つても軍服を正して端然として勝ぜられた、[illegible]一面よく部下を愛した[illegible]

二月から七月迄が最も暑い頃だつたが、決して涼をとるといふ事もなくどんな日でも散歩されるも[illegible]端然として讀書に耽つて居られた、戰陣訓に[illegible]將軍だけに商場に在つては常に[illegible]に勝しては嚴正であつた、將軍の戰場に於ける唯一の趣味は[illegible]に描かれる事だつた、よく部下將校達の同好者を集めては一緒に描いて居られたが特に南洋の[illegible]を吸つてゐる[illegible]をよく描いて居られた、其後〇〇

方面 で部隊長をやつてゐられる頃、又々お目にかかつたがあの當時が印象深かつた[illegible]其時私は[illegible]を[illegible]と二[illegible]と激讃をみせられた、何と云つても私の一番印象深いのはあの暑い[illegible]でどんな時でも軍服を正して端然として居られた事、そして決して部下を叱られた事のない事だ部下の失敗を叱らず諄々と說示される温厚な將軍の英姿が未だに彷彿として眼前に在る、先程ラジオで將軍の[illegible]があつたが、ビルマと〇〇は同緯度だが、やはりあの當時と變らず

端然 として餘暇をみては[illegible]の一[illegible]を描いて居られる事と懷しく思つてゐる（寫眞は長友大尉）

學童眞心こめて慰問

あす・白衣の勇士、名譽の家を

皇軍への感謝示現

新竹州・あす數々の計畫實施

【新竹電話】[illegible]新竹州ではヨイコドモの皇軍感謝一ヶ月[illegible]………それは白衣の勇士や名譽の家慰問で、この五萬に上る童心の眞心こめた慰問には白衣の勇士も譽れの遺族たちもさぞかし喜ぶであらう、卽ち臺北州下州學校では十日、[illegible]陸軍記念日を迎へ、市内各國民學校より九名乃至十名の兒童が代表となり、市內の「名譽の家」を訪問、五萬のヨイコドモが日夕々手分けして市內の[illegible]代表してその遺族を慰めて[illegible]ると共に最近の戰死者の家に對しては香華料を、その他の家には生花を贈り佛前に供へる、また同日陸軍病院分院に同分院に各校のヨイコドモ代表が訪問し白衣の勇士を慰問すると共に慰問品を贈り、勇士たちの[illegible]を大いに[illegible]皇軍感謝の赤誠を披瀝する事となつてゐる

【新竹電話】新竹州では十日の陸軍記念日を中心に保甲民の皇軍への感謝の念を喚起し且つ幾分でも[illegible]を補ひ[illegible]の誠を[illegible]し[illegible]めるため全島御奉公の誠を擴さしめるため金[illegible]の獻金の徹底を期する運動を起す事となつたが之は保甲役員、壯丁團員、婦人保甲會員等が各戶を訪問して[illegible]に[illegible]して[illegible]

こと、又一甲單位二円の獻金を[illegible]あり市內の[illegible]の慰問文と人形その他の慰問品をつくらせる計畫も進められてゐる

感激の獻金　大詔奉戴日に

八日は大東亞戰第三回目の大詔奉戴日[illegible]

俘虜監督指導者志願　二千百餘名を算す

あす・第一次銓衡會議實施

去月十六日皇民奉公會中央本部が軍當局の依頼により中支方面に俘虜監督指導者を募集したところ[illegible]

本島 人青年層より廣く應募[illegible]を募集しこれを集計せる[illegible]の一萬に[illegible]各州廳の[illegible]計二二五〇名に達してをり、この中、中等學校卒業又は奉公會主催の第一種[illegible]等によつて

執銃 訓練を受け且つ志願兵志願を爲しある者五百八十名、中等以上及び第一種訓練によつて執銃教練を既に修得せる者二百七十九名、國民學校卒業程度で執銃教練の經驗なく志願兵を志願しある者七百五名、執銃教練を受けず文志願兵を志願しあらざる者五百九十一名といふ內譯[illegible]

臺北四七四、新竹三〇九、臺中[illegible]四八五、臺南三七三、高雄三七〇、花蓮港九三、臺東四七、[illegible]

陸軍記念日講演會

明夜・臺北市公會堂に開催

大東亞戰爭の驚異的な大戰果の中に十日第三十七回陸軍記念日を迎へ皇民奉公會臺北市支會では市公會堂で同日午後七時から陸軍記念日講演・映畫の夕を開催する、講演[illegible]は左記の通り

▲講演

[illegible]臺北市[illegible]

[illegible]臺北陸軍兵事部長

▲映畫

[illegible]

十日の陸軍記念日「陸軍記念日」を迎へて」と題し午後六時三十分より約二十九分間に互り臺北放送局のマイクを通じて[illegible]講演を行ふこととなつた

井上報道部長　あす記念放送

腐敗鹽魚にご注意

臺北州警務部衛生課では最近になつて漸く[illegible]都市民の食膳に現はれ出した鹽鯖並に鹽鰺に腐敗品あり[illegible]との聞込みを得て此程市內二十一店につき取締調査の結果腐敗の傾向あるもの五件を摘發[illegible]したが"品不足だから"と云つて手當り次第賣はぬ様に十分調べて買ひ召し腐敗品があつた場合は最寄派出所に届け出て取締の徹底に協力されたい[illegible]と一般市民の注意を喚起してゐる

であつたが、この日、基隆憲兵隊[illegible]部にもたらされた國民感謝の赤誠獻金は憲兵金一千四圓、國防獻六件百十圓、總して一千百十圓に達しその他案袋、慰問等の獻品五件あり係員を感激させた

谷向博士創製　ハート字浣腸　便秘・痔疾・腸內異狀發酵　大人用・小人用（谷向醫院五〇〇頁入）

期待される新竹市保健組合聯合會

【新竹電話】新竹市衛生課では[illegible]幼兒保護を目標とし生めよ殖せよと國策線に副ふ爲め各派出所管內一名宛の公醫を[illegible]して新竹市保健組合聯合會を組織したが事業計畫は診療料が往診一圓、[illegible]診五十錢、藥價料も市內は最高十圓から最低四圓、村落は最高六圓から最低[illegible]四圓、又兵士家族等は[illegible]無料で取扱ふと言ふ[illegible]期待される[illegible]今後の成果が期待される

横暴な物資配給所　あれば届出る様に

[illegible]配給所になつてから横暴になつた………之は[illegible]する[illegible]北部[illegible]

長期地方改良講習會開會式

第十一回長期地方改良講習會は九日午前九時半より臺北市[illegible]に於て[illegible]總督府地方課より清水課長、依田[illegible]理事官其他出席、[illegible]の訓示[illegible]があつて式を終り、同十時より[illegible]長「政治に就て」と題し[illegible]時間に亘り大々講義を爲し四時第一日目を終了した、[illegible]等以外に南方[illegible]

大東亞戰展覽會に　飯田畫伯作品提供

[illegible]飯田實雄氏は市公會堂に[illegible]豫定の大東亞戰展覽會[illegible]として作品四十點の提供方を[illegible]道部を通じ申込み[illegible]せた

服部報公會から研究費補助さる

臺北帝國大學[illegible]服部報公會では[illegible]から研究費の補助があつた

一、南方熱帶圈に於ける[illegible]の研究　教授[illegible]氏

一、南日本の植物地理學的研究　教授[illegible]

一、熱帶に於ける[illegible]の研究　[illegible]

一、臺灣に於ける[illegible]の研究　[illegible]

一、[illegible]研究　教授[illegible]　助教授[illegible]

一、マラリアの[illegible]に關する研究　教授小田俊郎氏

一、[illegible]に關する[illegible]の[illegible]研究　[illegible]

製材業者が南方諸島に進出

山口縣下の朗話

【山口本社特電】山口縣下[illegible]業者が南方へ乗出すとともに[illegible]

校風樹立に保護者も協力

臺中二女の企て

【臺中電話】臺中二女では[illegible]保護者の協力によつて[illegible]

土光警察部長巡視日程

土光警察部長[illegible]

[illegible]▲十一日北港、[illegible]▲十三日[illegible]▲十四日[illegible]▲十八日[illegible]

三國志（718）

（赤壁の巻）

吉川英治作　矢野橋村畫

山谷笑ふ（二）

[illegible]

洋髮香油　ルル　黒椿　大阪製油株式會社

東京無線　獨學で無線通信士技術者となれる　通學部　近眼　技術講義

あらゆる…　化膿性疾患に　適應症　急性・慢性淋疾　感冒・肺炎　扁桃腺炎　丹毒・中耳炎　化膿性婦人科疾患　化膿性眼科疾患　―製法特許―　ズルフォンアミド劑　最も進歩した　レギオン錠　大日本製藥株式會社

化膿性疾患に　強力リベール錠　優秀二茎性アミド製劑　銳敏なる殺菌力を有し内服後尿は淸澄し數日にて殺菌・止痛・消炎の治癒效果を發揮す　中耳炎・扁桃腺炎・急性淋疾・慢性淋疾・化膿性婦人科疾患　大阪・[illegible]製藥所

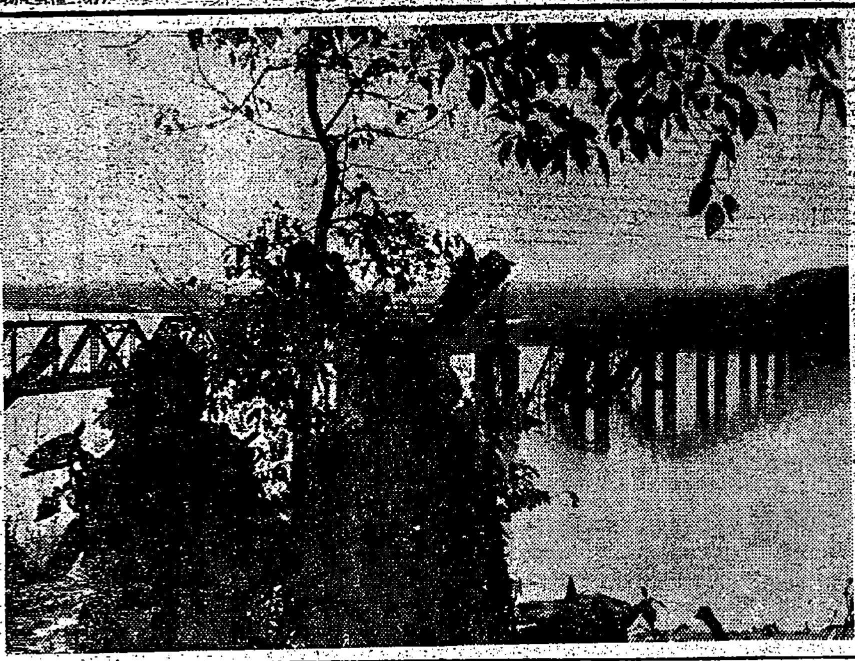
母に栄養　子は無病　胎内で決まる　わかもと

肺　くまくろ　治療書を無代進呈　これは初耳！見逃せぬ！ここに珍らしい良法あり　山閣

ケンゴール　化膿性疾患　短期に化膿的治療

名人會寄席の夕　大辻司郎　石田一松　前田勝之助　春風亭柳橋　一龍齋貞山　美ち奴　廣澤虎造　柳川春葉　三遊亭金馬　勝つて兜の緒を締めよ！　テイチク

神經痛・喘息に…　イミヅマ



破壞されたシッタン河鐵橋をはさんで敵陣を見守る砲隊鏡　―ビルマ戰線にて

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁
發行兼編輯印刷人 江口[illegible]作
發行所 臺北市[illegible]町四丁目二番地 臺灣日日新報社
[illegible]

酒界之王 菊正宗

爪哇島敵軍全面的無條件降伏

全東印度の戡定完了
降伏敵軍約九萬八千
時に三月九日午後三時

【東京發同盟至急報】大本營發表（九日午後十時二十分）蘭印方面帝國陸軍部隊はジャバ島の敵軍主力をスラバヤ及びバンドン附近に兩斷包圍してこれに猛攻を加へ上陸後僅かに九日にして蘭印軍約九萬三千、米、英、濠軍約五千をして全面的無條件降伏せしめたり、時に三月九日午後三時なり

蘭印總督邸に日章旗

【東京發同盟】蘭印軍遂に降りここに全東印度諸島の戡定は終了した、哀れにも自らの實力を知らず米英の吹く反日の笛に踊らされて敢へて火中の栗を拾つたスタルケンボルグ總督以下蘭印政府首腦者の今の心境は如何、彼等が多年に亙り日本及び日本人に加へた惡質極まる侮辱と壓迫とは實に枚擧の遑がなくわが在留邦人は戰爭直前涙を呑み拳を握りしめて引揚げて來たが、今バイテンゾルグの總督官邸の屋上高く日章旗が飜つて感慨眞に深きものがあらう、蘭印各島嶼は濠洲と亞細亞の間に位置して東西五千粁南北二千粁に及び太平洋と印度洋とを分つ戰略上の要地であり、大東亞戰の天目山と見られる所、この地域の確保はシンガポール陷落にも決して劣らぬ重大意義をもつてゐる、蘭印の戡定によつて濠洲、ニュージーランドは全く孤立化し、英國の印度洋支配は根こそぎ覆へされたのである、また資源作戰の上から見れば蘭印は他の南方諸地域とは比較にならぬ重要性があり、その豐富な軍需資源はわれ〳〵が大東亞戰爭を戰ひ拔くために缺くことの出來ないものがあるだけでなく米英にとつては錫、護謨、規那資源の完全な喪失を意味するものだ、オランダはこの蘭印諸島を『赤道にかけられたエメラルドの首飾り』と誇つてゐたが今や皇軍の保護下に大東亞の資庫として本然の姿に返つたのだ、蘭印七千萬のインドネシア人は昨年春オランダ本國が五日間にしてドイツに制壓された時『僅か五日間で』と言ふ流行歌を歌つてオランダを揶揄したが、彼等が長く待望してゐたオランダ政權打倒の日は今や皇軍の手によつて齎らされたのだ、彼等が歡呼の聲で皇軍を迎へてゐる姿が目に浮ぶやうである、かくてここ數世紀の間イギリスと共に海賊行爲をもつて海外植民地を獲得したオランダに公平な天の審判は降つた

蘭印總督降伏條件承認

【バタビヤ九日發同盟至急報】去る七日我軍に停戰を申出たスタルケンボルグ蘭印總督は直に無條件降伏を承認、九日午前十時カリジヤチに放送局を通じて全蘭印軍將兵に對し抗戰停止の命令放送を行つた、既に戰意を喪失せるジャバ島東部スラバヤ東南地區中部バンドン及びチラチヤツプ地區に集結中の敵軍は右放送聽取と同時に一齊に武器を放棄して我軍に投降、去る一日我軍上陸以來旬日を出ですして全ジャバ島は我軍の攻略する處となつた

【バタビヤ九日發同盟至急報】八日午後三時スタルケンボルグ蘭印總督は飛行機でカリヂヤチ飛行場に飛來し我軍に對し『全面的降伏の用意ある』旨申出た

【バタビヤ九日發同盟至急報】在バタビヤ蘭印側機關は九日午後四時左の如く發表した

蘭印軍總司令部は本日午後三時半日本軍司令官提出の降伏條件を全面的に受諾した

【〇〇基地八日發同盟至急報】七日午後十一時三十分蘭印軍司令部參謀ブレスマンは日本軍司令部に白旗を揭げて出頭し全面的停戰希望を申出た

蘭印方面陸軍最高指揮官 今村陸軍中將

【東京發同盟至急報】大本營發表（九日午後十時二十五分）蘭印方面陸軍最高指揮官は陸軍中將今村均なり

【東京發同盟】蘭印方面陸軍最高指揮官として最後の蘭印の牙城ジャバ島を攻略し敵軍を降した今村均中將はマレー作戰陸軍最高指揮官山下中將と共に陸軍を背負ふ將軍として期待をかけられてゐる逸材である、大東亞戰爭勃發と同時に蘭印作戰陸軍最高指揮官として萬里の波濤を蹴り一月十一日蘭領ボルネオ島のタラカン攻略に敵と初手合せして以來[illegible]を次々に攻略更に遠くビスマルク、セラム、チモールなど各島の[illegible]に奇襲上陸を敢行してジャバ島東西の[illegible]去る一日敵の[illegible]を冒してジャバ島三ケ所より奇襲上陸したこの大[illegible]たる作戰は各國軍事專門家の[illegible]する所であつて流石にマレー作戰の山下將軍と共に[illegible]、同將軍は[illegible]昭和十一年三月[illegible]同十二年八月[illegible]

蘭印副總督等バンドン脫出

【リスボン九日發同盟】ロイター通信アデレード（濠洲南部）電によればファン・モーク副總督以下十四名の蘭印政府首腦は九日飛行機でバンドンを脫出アデレードに到着した

大東亞戰爭下 けふ初の陸軍記念日
日露戰爭偲び決意一新の秋

【東京發同盟】既往の春秋を[illegible]ぐ三月十日の今日大東亞戰下初の陸軍記念日を迎へた蓋し嘗つて國運を賭して戰つた日露戰爭當時を偲び明日の決意を新にすべき日である、明治三十七年二月四日愈々重臣會議の開議が決定された時樞密院議長伊藤博文公は桂首相に向かひ『果して勝味があるか』と問ふた桂首相は答へた『勝味はない唯大和魂で戰ふだけだ』そして伊藤公は御前會議終了後次の樣に悲壯な決意を洩らした

今度の戰ひは陸軍でも海軍でも又我等でも成功の見込をもたない、しかし日露の形勢既にやむを得ずわが國は國運を賭して戰ひを初めねばならぬ、あの強大な露國の大軍が朝鮮に侵入すれば朝鮮は蹂躙されてしまふだらう、だから陸軍は朝鮮でこれを防ぎ止る[illegible]であるけれどもこれとて成功の見込十分とは申されぬ、わが海軍とても敵大軍と雌雄を決して或ひは全滅するかもしれぬ第一わが軍が朝鮮で敗れ露國の軍隊が侵入して來た時は及ばずながらこの博文昔の北條時宗の故事に習ひ自ら武器を把り身を卒伍の中に投じ己が家內も時宗の妻女に見習はせて兵食の炊事に當らせ夫婦共々九州たり山陰道なりに出かけ殘つた國民と共に海岸を護り一步たりとも露兵をわが國土には上らせない決心である

といはれた畏くも天皇陛下には米國の[illegible]を希望し給ふため金子堅太郎伯（當時男爵）をアメリカに御差遣になつた、それよりさき二月十四日の早朝のことであつた、當時金子男の住つてゐた葉山別邸へ折柄御用邸に御滯在中の皇后陛下が御微行で行啓遊ばされ『突然參つて[illegible]』[illegible]は近日金子が米國へ行くと聞いたが今度の場合は必ず重大な[illegible]

決意

が窺はれるのである これこそ露國一致眞に必死の覺悟[illegible]

[illegible]

讓渡

[illegible]

沿岸

[illegible]

兵備

[illegible]

兩代表停戰の折衝
バンドン北方 レンバムに會見

【バタビヤ九日發同盟】蘭印軍は皇軍上陸（一日）一週間の七日午後十一時停戰の申入れをなし彼我代表はバンドン北方レンバムに於て會見停戰條件につい折衝を行つた　蘭印の敵は最近まで兵力を五萬より十萬に增強し更に濠洲兵五千の[illegible]援をうけジャバ島を東、中、西部の三防衛區に分けて配備し更に英米蘭濠聯合艦隊をもつて皇軍の上陸を極力阻止し米國及び英濠の救援を待つて極力抵抗せんとしたが我が作戰の巧妙と[illegible]以上の快進擊に[illegible]呑まれ遂に抵抗を斷念したものである、即ち我が上陸部隊は先づジャバ島の東西兩地より有力な部隊を以て上陸に成功する一方中部ジャバに挺身部隊を上陸せしめ敵軍中央部に突入してこれを遮斷すると共に敵軍唯一の退路たる南岸のチラチャツプに突入したため全蘭印軍は進退兩難に陷りたのみ[illegible]英濠の冷淡さに抵抗の術も失ひ停戰申出をなしたのである、バンドンにはスタルケンボルグ總督以下蘭政府首腦部あり蘭印軍の停戰申入れは總督の支持に基いた模樣である

飯田指揮官に祝電
長谷川臺灣總督から

ラングーンの完全占領に當り長谷川總督はビルマ方面最高指揮官飯田中將に宛て左の祝電を發した

蘭貢陷落の捷報に接し謹みて慶祝の意を表すると共に將兵各位一層の御武運長久を祈る

住民歡呼して皇軍迎ふ

【バンドンにて九日發同盟】西部ジャバ最後の牙城バンドンの護りもわが包圍猛攻の前に遂に力盡きて降伏した、八日午後バンドン進駐の先遣部隊と共に記者はバンドンへ入つた、歡呼するスンダ人、敵降伏の報を得てバタビヤよりバンドン北方[illegible]間の鐵路に沿つて[illegible]タンケバンフラホ山の右側よりバンドン突入[illegible]にあつた[illegible]主力部隊は坦々たるアスファルト道路を疾走すること約二時間、バンドン北方十一粁チマヒの街に入るここで先遣部隊のトラックに乘替へて出發、道は早くもバンドン郊外を思はせる[illegible]九百米のバンドンはジャバ唯一の避暑地であるだけに點々と瀟洒な別莊住宅が林間に白い屋根をちらつかせ車上に[illegible]る大日章旗を仰ぎ見てすれ違ふスンダ人は至る所で兩手を[illegible]げて歡呼の聲を擧げる、約二十分後車は敵抵抗線に到着、[illegible]と[illegible]された既設陣地帶が續いてゐる、護謨林の陰にはベトンのトーチカが無氣味に銃眼を覗かせてゐる

沈痛な步哨の表情

われ等のトラックはバンドン地方住宅街に到着した、[illegible]街道路を縱橫に周らしたこの地區は目が醒める樣な美しさだ、蘭印軍の裝甲車が道端に[illegible]まつて居り[illegible]恐怖から救はれた安心にほつとした顏の蘭印軍下士官が[illegible]赤黒い顏でにやりと笑つてゐる、[illegible]敗戰の[illegible]も感じられない、市北側の商會にセレベス風ののめりさうな灰色の屋根をした工科大學の校舍は一見して[illegible]軍と判る兵隊がなすこともなく垣根に首を持たせかけながら進駐部隊の進入を見物してゐる、ジャバ防衛の[illegible]が如何に[illegible]ばかりの芝居だつたかとの一見[illegible]群衆を見れば立所に[illegible]される市の中央に近いアンポンプレインの廣場に步哨が沈痛な表情で立つてゐる、[illegible]の建物が[illegible]な護衛兵に護られてシーンと靜まり返つてゐる

オランジュボンの叫び

七百萬盾を投じて建てられたと言ふパリ風洋式の土木交通省の建物が立つてゐる周圍の庭園の美しい芝生が見る影もないまでに防空壕として掘返されてゐる、しかしバンドン攻略に當つて落下した爆彈の跡などはどこにも見られない細い流れに架せられたコンクリートの橋を越えて市の商店街に入る、バタビヤの避難民を加へ二十萬近い住民が喜々とその[illegible]ともせずに[illegible]つて街に溢れてゐる、通りのお洒落たつぷりな商店が何れも大戶を開いてゐるがどこにも[illegible]『オランジュボン、オランジュボン』と口々に言ひつつスンダ人、華僑などが皇軍に群がつて來る[illegible]世界一の『強い兵隊』を傍らによつて[illegible]と見てやらうと[illegible]てゐる通譯を通じて彼等の感想を聽くと『オランダ人ほど無茶に嘘をつくものはない彼等に支配されてゐたわれわれの苦しみを憐れんで[illegible]われわれはずつと以前から日本軍がここへ來ることを信じてゐたと言ふ

歸へる日章旗

日本人は三百五十人以上ゐたが何れもマレー戰爭の途中で濠洲の方へ連れて行かれたらしい[illegible]以來今まで日本人を見ることは絕えてなかつたと言ふ一人の老[illegible]たスンダ人が[illegible]の紙片をもつて現はれる[illegible]に在勤二十年忠實勤勉に勤めました、なにかのお役に立てばお使ひ下さい、日本飛行隊の皆樣へと書いてある二十年勤め上げた[illegible]人の身の上を案じて認めゆかしい主人の心遣ひであるが名前を書いてないのは[illegible]『オランジュボンミュキ』と言ふだけで話がよく通じない、岡野[illegible]氏苦心の經營にかかる千代田百貨店は大通りに面してひつそりと大戶を卸してどこにも損害の跡はないゴッタ返す市民や蘭印軍に對する整理が早くも皇軍の手で開始されこの美しいバンドンの街は僅半日で復興の平和色に[illegible]つてゐる、引卸されたオランダ國旗の跡に次から次へと大日章旗が飜へつてゐる

果敢！コタバル飛行場占領
佗美部隊に感狀を授與
陸軍大臣より奏上さる

【東京發同盟】陸軍省發表（九日午前九時三十分）開戰劈頭マレー方面上陸作戰において迅速果敢獨力克く敵の重要飛行根據地たるコタバル飛行場を占領せる佗美部隊に對し玆に南方方面陸軍最高指揮官より左の通り感狀を授與せられ右の旨陸軍大臣より奏上せり

感狀

佗美部隊、同協力部隊

右は敵の防備最も堅固たるコタバル附近において主力の救援を意圖せず果敢克くその上陸に成功し引續き重要なる敵の空軍根據地を占領し、もつてマレー方面全般の上陸を容易ならしめたり、右武功は拔群なり、依つて玆に感狀を付與し隷下の全軍に布告す

昭和十六年十二月九日

南方方面陸軍最高指揮官 伯爵 寺內壽一

感狀を授與された佗美部隊長[illegible]陸軍省人事局課員、[illegible]

バタビヤ市新發足

【バタビヤ九日發同盟】わが軍入城以來日に[illegible]を回復しつつあるバタビヤ市は[illegible]九日一齊に[illegible]人の顏からも既に[illegible]不安の[illegible]

今日の府報

▲府令第三十六號臺灣總督府[illegible]規程の件▲訓令第二十五號臺灣總督府陸軍兵志願者訓練所生徒銓衡手續の件（以上號外）▲告示第二百三十一號[illegible]の住所及氏名の件▲告示第二百三十二號[illegible]の最高販賣價格指定中改正の件▲告示第二百三十三號[illegible]改正の件▲[illegible]

せんそくに
頓服で効く
本劑は二種の有效な植物より抽出せる[illegible]にして一にセキを止め一はタンを除去する作用がある。又補佐藥として[illegible]カンフル劑を合理的に配合してあるから、弱つた[illegible]の人にもよい。しかも中毒や習慣性がない
定價 一圓、三圓、五圓
東京市[illegible]
本舗 柴崎製藥所
全國藥店にて販賣す
ひろ喘息薬

感冒 肺炎 [illegible]に
下熱鎮痛消炎の卓效迅速
三十分[illegible]
デルモライツ

早稻田大學講義錄
校外生募集
本大學の校外教育の概要、入學手續等は總て規則書にあり。
規則書は必ず希望の講義錄名及び住所氏名を明瞭に書いて申込まれること。
至急申込乞ふ。

講義	學費
中學講義	學費月一圓 前後期各一年
商業講義	一學年修了 學費月一圓
高等女學講義	一學年修了 學費月一圓
政治經濟講義	一ヶ年半修了 月一圓二十錢
法律講義	一ヶ年半修了 月一圓二十錢
文學講義	一ヶ年半修了 月一圓二十錢
建築講義	一ヶ年半修了 月一圓三十錢
電氣工學講義	一ヶ年半修了 月一圓三十錢

東京牛込 早稻田大學出版部

實行烈しき四著・增刷出來
人間と死
友松圓諦著 價一・五〇 〒・一〇
教界の第一人者たる著者が死の問題を解決し、生の眞意義を說く、豐富な體驗と深き洞察により死と死後を語り、また佛教の面目を平易によく傳へた近來の名著！
父心 母心
友松圓諦著 新時代の男性道、父の悩みに答へた新聖典、[illegible] 價一・五〇
肚で行く
山中峯太郎著 [illegible] 價一・二〇
青春の智慧
石丸梧平著 若き日の不滿[illegible] 價一・四〇
東京市[illegible] 偕成社

改造 三月號
占領地經營の基本課題
東畑精一・加田哲二・中村哲・[illegible]・平野義太郎（討議）
熱帶醫學・鈴木[illegible]
シンガポール港陷落と戰局の將來・伊藤正德
新嘉坡陷落と重慶・田中香苗
山下奉文・山浦貫一
新文化運動の提唱 橘樸
國民的新政治力の要望 津久井龍雄
東亞民族發展史序說 和田清
軍政論 大串兎代夫
モンスーン・大谷東平
アメリカ留學・金子堅太郎
日本農業論・大槻正男
搖ぐ英內閣・伊藤七司
ビルマ進擊記・高見順 陸軍報道班員
武將言（[illegible]）波多野[illegible] 平[illegible] 吉川英治
創作 德永直 上田廣

大東亞戰爭に直面して
東條首相 獅子吼集
奧村情報局次長の讀辭
定價一圓 送料十錢
大東亞戰爭の完遂に邁進せる全國民は、必ずや此の書に依つて、東亞の重大危局を認識し、世界歷史の必然性を理解し、更に之がため東亞の盟主日本の國民が今日何を爲すべきかを力強く教へられるであらう。大東亞戰爭下の日本國民は、東條首相の此の好個の贈り物に依つて、愈々認識を高め益々決意を固くし、[illegible]の翼賛たるの本分に奉公すべきを祈念する次第である。
改造社 東京市芝區新橋七 振替東京八四〇二〇

社説

重慶の屈伏は時の問題のみ
英の印度支配も危機に立たん

一

蘭印の首都バタヴイア陷落し、メンドン、スラバヤ又眼前の塵の如く、西南アジアの敵抗戰據點悉く潰滅し去らんとするとき、緬甸の首府ラングーンが相ついで陷落、同時に大本營はこれによつてこの方面の作戰主目的は[illegible]と公表、今次ビルマ作戰目的が英國米國の援蔣物資輸送路遮斷にあることを明かにするところあつた。ラングーンの存在が、支那事變處理上の最大の癌であつたことは、いまさらいふまでもない。だが、大東亞戰開始後の今日的意義についていふならば、ラングーンの戰略的重要性は啻に援蔣物資輸送路としてのそれのみでなくラングーンこそは所謂A・B・C・D包圍陣の合流點として、バタヴイア、シンガポールとともに一層大なる意義を有してゐたのである。從つて敵がラングーンを喪ふことは、バタヴイア、新嘉坡失陷後に於ては唯一の殘されたる合流點を喪ふことを意味する。換言すれば、ラングーンの失陷は、敵が帷幄以つて日本を屈伏し得べしと錯覺してゐたABCD包圍陣の完全なる破壞を意味するのである。

二

曾つて今次ヨーロッパ大戰勃發の直後、印度軍司令官であつたロバート・カッセルが、「ビルマが敵の攻撃に陷することは、ベンガルに匕首を擬せられたに等しい」といつたのは、吾人の記憶に生々しいことである。ここにいふベンガルとは印度であり、印度洋であるはいふまでもなく、又カッセルが「ビルマ」といふ場合、それは直ちにラングーンを意味してゐたといふことも、ラングーンの政治的地理的要因にみて明かである。從つて皇軍のラングーン占領は、啻に印度に對して脅威を加ふるばかりでなく、カッセルがいみじくも喝破せる如く、ガンジス河口を抑へベンガル灣を東方から制壓し、オリッサ、ハイダラバッド、アバラス[illegible]及びセイロン島を含む南印度の關鍵を自づからにして決定するのである。無論印度最大の都會であり、重工業地帶であるカルカッタは直接攻撃の目標に晒され、內政上の危機とともに印度防衛が危殆に瀕することは謂ふまでもあるまい。

三

かくて、ラングーン攻略の軍事的價値は、新嘉坡、バタヴイアの陷落にもまさるとも劣らぬ重要さを有つ。重慶の屈伏はもはや時の問題である。假令今後カルカッタ或ひはカラチを基點とし、ヒマラヤ山系を大迂回する新輸血路を開拓するとしても、それはただカルカッタの運命、延いては英國の印度支配の運命を短縮するに役立つばかりであつて、決してラングーンにかはり得るものではない。若しそれラングーン占領を契機としてビルマ千五百萬民衆が蹶起獨立を宣言するに至るならばビルマの米、石油、チーク等に依存する印度は英の狡猾なる分割政策の犧牲として、忽ち內部的崩潰の危機に晒されるであらう。印度の崩潰が英國の印度喪失を意味することはいふまでもなく、かくて“例へシェークスピアを失ふとも、印度を失ふことを得じ”といつた英帝國の一大資源印度は、ラングーンの失陷によつて愈々直接の脅威に晒されることになつた。首相チャーチルの苦悶察すべしである。

陸軍記念日を迎へて

一

奉天の陸戰とアジアの運命を賭す大東亞戰爭の渦中にあつて、第三十七回目の陸軍記念日を迎へることは、更に特別に感慨と緊張を覺ゆるものである。明治三十七、八年の役は言ふ迄もなく、當時國土に於て武備に於て、世界一の强國と恐れられた大ロシア帝國の傲岸なる東亞侵略を糺し我に數倍する彼を向ふに敢然、天に代つて膺懲したのであつた。此の戰は恰も今次大東亞戰爭が、アジアを侵略しこれを隷屬視し飽くなき英、米等の野望と壓迫を排除せんとするにあると軌を一にしてゐる。[illegible]爭ふに非ず孰れも已むに已まれぬ聖戰である。斯かる見地より以てすれば今日の大東亞戰爭は日露戰爭よりの繼續にして戰爭の目的を同じくし、目的が一層擴大明確化されたものと言つて憚りないと思ふ。

二

日露戰爭は前後二年に亙り、わが忠勇果敢なる陸海將兵の奮戰と銃後の忠誠奉公により遂に大敵ロシアを屈伏せしめたのである。然し滿天の野に、對馬の沖に決定的な大捷を博するまでには軍官民不屈不撓、まことに言語に絕する苦闘を續けたのである。その艱苦能く身が寛に天に通じ多くの奇蹟をも生み、天佑神助を享けて飛躍日本の新たな基礎をなしたと言へる。今次の大東亞戰爭は勿論その規模に於て敵方の勢力に於て日露役の比でない。それだけにこの聖戰完遂には吾等の先人が努力を以て克くロシアに勝ちその野望を打ちひしぎし如く、軍官民一丸の火と燃え、如何なる大敵、强敵と雖も[illegible]戰つて屈せず、[illegible]最後の勝利まで敢闘邁進せねばならない。唯その爭である九日は英領ビルマ鎭定を意味する首都ラングーン陷落の快報あり、吾人は唯々聖戰の[illegible]あらたかを仰ぎ、更に皇軍將兵の超人的な奮闘を偲んで深甚なる感謝を捧げる、そしてこの大戰果上に明けたけふの陸軍記念日に更に一入の感奮を要するものである。

無血、無銃聲の渡河
シッタン河對岸へ上陸成功
月明下の突進

【シッタン河畔九日發同盟】二月二十六日夕刻シッタン河渡河の先陣を承り渡河點を確保すべしとの命を受けたわが宇都宮部隊の勇士はシッタン河大鐵橋の殘骸を二粁上流に望む戶數僅かに三十戶の貧しげな寒村の部落に續々と隊列を整へた、日沒を待つて眼前の濁流渦巻くシッタン河の敵前渡河決行だ、今まできらきらと呼吸も苦しい程の光線を河岸の砂地一帶に撒き散らしてゐた灼熱の太陽が對岸に沈んでいつた夜の幕が下されると工兵隊が砂を踏みたてて飛出して行く渡河舟艇の準備だ、この舟艇に○○部隊の將兵が粛然と乘り込んだ頃には對岸の森林さへ判別出來る十三夜の月が煌々と高い滿潮時の逆流のみが目の前にある、愈々○艇の舟艇は一艇二艇三艇と離れた、忽ち上げ潮のため上流へ、上流へと流されて行く寂として唯水を切る音と漣瀬の細流だけが聞えるだけだ、對岸の森の中には敵兵がゐるのかゐないのか靜まりかへつてゐる、急流に流されながら河幅の三分の二を渉つても對岸からは物音一つしない、七、八百米も渉つた頃舟一つで乘り込んでゐた兵隊さん達は一齊にザンブと水中に飛込んだ月明の下に銃を高く捧げた兵隊がすべて無事に對岸の砂丘に上陸した、シッタン右岸の敵陣にはわが猛攻に氣を吞まれて既に敵影なくここに全く無血、無銃聲渡河は完成したのだ

敵“防備線”を放棄
皇軍全將兵の意氣軒昂

【シッタン河畔にて九日發同盟】二月二十三日をもつてシッタン河左岸の敵約三千に對する掃蕩戰を大成功裡に完了したわが精鋭各部隊は息つく暇もなく、今次ビルマ作戰最大の難關と豫想されてゐたシッタン河の敵前渡河を敢行したプリンのシッタン河大鐵橋下流二粁タウゴン附近に於て○○、○○各部隊は廿六日夜折からの月明を利して幅一千米の濁流渦巻くシッタン河口の敵前無血渡河に成功したのをはじめにわが軍は敵に爆破されたシッタン大鐵橋の上、下二箇所に於て渡河點を確保、なんら敵の抵抗を受けずして續々渡河し敵を急追して猛進を續けてゐる、シッタン河は河口に於ては幅約四粁爆破された大鐵橋附近に於ても一千乃至七百米の中洲があつて大型船舶の通航不可能なも干潮の際は極めて大きく滿潮時には渦巻いて逆流し干潮時には濁水滔々と流れ防禦には絕好の地であるシッタン渡河點こそビルマ作戰乃至ラングーン平野攻略戰の關ケ原と見られてゐたのであつたがわが軍シッタン河畔の線に進出すると見るや敵は逸早く右岸の防禦線を放棄して潰走をこととし渡河に際しても一發の銃聲さへ應酬しない有樣で天險を無血渡河せる皇軍將兵の意氣軒昂既に敵都ラングーンを吞むの概がある

石鹼共販會社
設立準備進む

府殖產局では化粧石鹼並びに洗濯石鹼の共販會社を設立すべく準備中でその構成員は移入、製造業者と後者は島內生產者をも含め、資本金は前者は十五萬圓、後者は十九萬圓とする豫定である

シ河岸は敵死體の山
空陸一體・巧妙な大殲滅戰

【ビルマ戰線○○九日發同盟】皇軍の精鋭各部隊は去る二月十八日南北二ヶ所においてビリン河の敵前渡河に成功以後、二十三日まで果敢な敵の抵抗を擊破して猛進を續け、遂にシッタン河の線に到達した、このビリン、シッタン兩河の間には敵がラングーン平野防衛の決戰陣地として堅固な野戰陣地を構築、英本國兵を交へた五箇聯隊部隊約四、五千を配した所であつたが、わが巧妙なる作戰に敵は防禦配置の裏をかかれ、壯烈極まるシッタン河畔の大殲滅戰を展開、優秀な裝備と新鋭を誇つた敵印度軍第十七師並びに英本國兵のみよりなるヨークシャー聯隊は全く潰滅的打擊を受けるに至つた、卽ち敵は十八日ビリン北方及び南北二ヶ所におけるわが軍のビリン河渡河に際し北方ビルマ作戰初めてとも謂ふべき頑强な抵抗を行ひ、わが部隊の急追を受けると敵は反擊の企圖さへ示したが、わが南方渡河部隊の快速進擊に氣がつかず、わが部隊が敵陣後方四粁チトキャン附近に進出した時、はじめてこれを知り狼狽、ビリン河の第一線陣地を棄てて總崩れとなつた、わが部隊はここで挾擊態勢をとり、總退卻路に沿つて西北方に潰走する敵約二百を殲滅、引續き進擊を續けたわが○○部隊は二十日午前九時半ビリン西方十二粁のトンズン山の敵堅陣を陷れ、この西方山地帶で英人大尉の指揮する四百の敵部隊の反擊を激碎の末これを擊破、二十二日早朝にはビリン、シッタン兩河間最大の部落チヤイトを完全に占領した、この間北方進擊部隊は北方山地帶を迂回、山嶮による敵の堅陣を擊破して二十二日早曉には早くもシッタン河東方二千粁の地點まで進出したためチヤイト附近の[illegible]によつてゐた敵も退路を斷たれるを[illegible]し遂に[illegible]陣地の進擊を喰ひ止めんとチヤイトの街の民家に所嫌はず放火、敵飛行部隊の掩護下に退卻を開始したのであつた、ところが敵苦心の焦土戰術もなんらの効を奏さず、航空部隊の密接な協力を得たわが空陸合しての追擊戰は急追で潰走する敵の背後頭上に迫り、南方海岸沿ひの進擊部隊は二十三日午後一時チヤイト西方十二粁チヤツカサ附近において敗走の敵の後尾に追及遂二無二詰めたて一隊を片ツ端からこれを擊滅シッタン河畔へ追ひ詰めた、一方本道及びその北方を進擊せる部隊は二十三日午前十一時快速進擊を續けてシッタン河の鐵橋に到るモペリン北方高地に進出、敵の退路を全く遮斷するに成功した、これより先敵はわが軍の二線よりする猛攻擊にシッタン右岸の線陣に據り頑强に抵抗したが、二十二日正午頃より[illegible]首部隊がぞくぞくシッタン鐵橋を渡つて退卻を開始、約五百名が[illegible]うして退卻に成功したが、遂にわが急追を恐れ二十三日朝には前線部隊を見殺しにしシッタン鐵橋を破壞し、自らの手で退路を斷つてしまつた、ここに完全な袋の鼠と化した敵約三千は或は河畔を逃れて幅四粁のシッタン河下流の渡河を企圖し、或は山中ゴム林などに住民に變裝して隱れんとしたが南方よりするわが猛擊に殲滅されて河岸には遺棄死體の山を築き、或は逃げ場を失つて皇軍に捕虜となり投降してきた、辛うじて河中を泳いで逃げたものも河岸からのわが將兵の狙ひ射ちの的となつて殲滅された、かくて五日間に亙るシッタン河畔の大殲滅戰は敵遺棄死體八百以上（河中の溺死體を含まず）捕虜一千（內英人百二十五）といふ輝やかしい戰果を擧げ二十三日夕刻終了、シッタン左岸は一人の敵影を見ず完全にわが軍の確保するところとなつた

卑怯英軍・印度兵爆死

【ビルマ○○九日發同盟】ビルマ戰線においても英國兵は常に印度兵をビルマ兵を第一線に配し不利と見れば眞先に逃げて身の安全を圖つてゐるがシッタン河の殲滅戰においてもこの英兵の卑怯極まる行爲が白日の下に曝され皇軍將士を憤慨せしめてゐる、卽ち去る二月二十三日わが先頭部隊がシッタン河鐵橋を占領した際退卻を急ぐ英兵は三千の友軍をシッタン河以東に殘した儘自らの手で大鐵橋を爆破し皇軍の進擊を喰ひ止めんとしたが、その際橋梁上にはなほ數百の印度兵が殘つて必死となつて防戰中であつたにも拘はらず、英國兵は橋梁を爆破したため同橋を死守してゐた印度兵全部は無殘にも爆死するに至つた、此鬼畜の如き英兵の行爲には捕虜となつた印度兵達も泣いてその卑怯さを罵り復讐を誓つてゐる

青果物需給制確立
臺灣青果正副社長語る

臺灣青果株式會社重役陣は既報の如く去る二十八日の株主總會に於て總辭職を敢行、當局の指名により本山社長以下更新陣容の披表をみたので九日午前九時半同社新重役、社長本山文平、副社長池田藏雄、常務取締役今井昌治、同中澤幾雄の諸氏打揃つて石井殖產局長を訪ひ新任挨拶を述べ、本山社長は池田副社長と交々大要次の如く國策會社經營擔當者としての抱負を語つた

生產販賣と國民生活安定と云ふ二大國策の線に沿つて督府御指名の新重役陣一致協力邁進し度い、從前とても當社の資本構成は生產者及びその統制團體たる各州同業組合等のみに限られて居り當社誕生の使命も專ら公益的であつたのであるが時局下青果物はビタミン給源として國民保健上重要な食糧となり、之が國民必需量の確保は喫緊の要請をうくるに至り督府御當局に於ても輸移出第一主義を島內確保と移輸出の調整に轉換內外地に亙り廣く青果物配給機構の全面的改革を斷行、先きに青果物の配給統制規則を施行するとともに當社を中樞配給機關に御指定があつたので重役陣も從來通りの株主の選出によつたものではなく、當局の御指名により更新し度いと思ひ總辭職を決行、御承知の通り御當局の御指名をうけた次第である、現在七分の配當をしてゐるが之は株主たる聯合會や同業組合等の主要財源となつてゐると云ふ樣な事情もあるが私共は利潤などは度外視して[illegible]國民生活の必需品價格と之が圓滑なる配給の萬全を期して進み度い覺悟である

販賣可能米數量
私局二百八十二、三萬石

米穀局では十六年第二期作米の實收を四百二、三萬石と發表、其の後調査に依り生產者の自家保有は約百四十萬石程度と推算され、又生產者より消費者へ轉落する農民分も可成りあるので結局販賣可能數量は二百八十二、三萬石と見られて居る

正條密植普及徹底
各州下一期作植附進む

二期作米實收高が計畫數量に滿たなかつたため昭和十七米穀年度の食糧爭たる本年一期作米の增產には多大の期待がかけられてゐるが全島の植付狀況をみると高雄州下は例年通り他州に魁け全州下の植付を終了した、然し乍ら本期は降雨過少のため督府の勸獎面積は確保し得るも州としての增加面積に滿たなかつたのを州當局は遺憾としてゐる、正條密植は全州下に普及し唯岡山、恒春地方のみは陸稻畑が多いので事實上正條植の使用が不能であつた、臺南州下は今の處八割程度の植付を濟み、正條密植の普及狀況も好成績を示した、臺中州は植付完了六割程度である、新竹州下は未だ一部地方の植付を開始した處であり臺北州西部地方は三、四割程度植付を進めてゐるに過ぎないが[illegible]陽地方は前季同樣既に植付完了した、花蓮港廳下は臺北州西部地方程度で臺東廳は早魃襲來により今年は例年より二十日ばかり早く植付を開始し目下進捗中である、以上を概觀すれば植付狀況は正條密植の普及と相俟ち非常な增產氣構へであるから今後の天候さへ順調であれば今期生產高は先づ四百九十萬石は確實とみられてゐる

家族手當
督府改正を急ぐ

政府は人口政策に寄與すべく官吏等に對する家族手當の支給範圍及基準を改め同時に之と歩調を合せて會社經理統制令、賃金統制令に基く家族手當に關する規定を改正し四月一日より實施することになつた、臺灣總督府では中央に順應して四月一日より實施すべく手續進行中であるが臺灣官吏の家族手當は從前は月俸百二十圓未滿の者に對し一人に付き二圓、總額十圓を超えざる金額を支給した、然し今度の改正に依り內地並に月十圓の制限を撤廢すると云ふ意嚮が洩れて來るものと期待されてゐる、臨時家族手當の[illegible]（百五十一萬圓）は既に[illegible]を得てをり、家族手當支給要項は追て當局から發表されるが、督府では臺灣の特殊事情を顧慮して左の通り改正を加へることになつてゐる

（イ）從來の家族手當の支給は本給料月額百圓以下の社員に對してのみ認められてゐたのを本給料月額百圓を超ゆる社員に對してもこれを認める

（ロ）社員一人に對する家族手當の最高限度月十五圓の制限を撤廢する

（ハ）扶養家族の範圍中從來同一戶籍內に在る滿六十歲以上の父母及滿十八歲未滿の子とあつたのを同一戶籍內に在る滿六十歲以上の直系尊屬（父母は勿論祖父母等）及滿十八歲未滿の直系卑屬（子及孫等）に改める

內地では扶養家族一人に付き家族手當月二圓から三圓に引上げたが臺灣では從前通り月三圓据置となり內地と歩調を一にした

臺灣普通地方資金
府財務局割當金額發表

府財務局では昭和十六年度普通地方資金二百萬圓の割當を決定しその資金融通割當額を各主管廳並に勸業銀行に通知した該資金の借入利率は地方公共團體では年四分一厘、水利組合及產業組合其他では年四分四厘である、當局では資金借入者に對し速かに融資へ借入手續きを執り借入資金は絕對に指定用途外に使用せざるやう要望してゐる、資金融通の趣旨に反し資金用途外に流用した場合は繰上償還を命令することになつてゐるから特に注意を要する、資金割當金額（單位千圓）を主管廳別に列記すれば次の通りである

[illegible]	資金用途	割當金額
岡山街	街營住宅建築	三七〇
八堡圳水利組合	米穀增產水利施設	二五〇
旗山同	同	七〇
花蓮港同	同	一〇〇
鳳林郡同	同	一〇〇
兒玉町建築信購利組合	住宅建築	四〇
南邦建築同	住宅及店舖建築	七〇
新起町建築同	住宅建築	三〇
錦町住宅信利組合	同	五〇
宜蘭建築信購利組合	同	三〇
新竹向陽建築同	同	五〇
大和村建築同	同	四〇
彰化建築同	同	四〇
嘉和建築同	同	三〇
知恩建築信利組合	同	五〇
澎湖建築同	同	三〇
大成建築同	同	五〇
高雄文化建築同	住宅及店舖建築	八〇
山脚信購販利組合	農業倉庫建築	四〇
五股同	同	五〇
三重埔同	同	四六
林口信販購利組合	同	四〇
名間同	事業資金	三五
和美信販同	農業倉庫建築	四〇
梧棲信購販利組合	住宅建築	三〇
[illegible]	山池開設	[illegible]
[illegible]	肥料購入	三〇
[illegible]	事業資金	一〇
[illegible]	同	四〇
[illegible]	同	三〇
臺南州水產[illegible]	魚市場建築	二九
合計		二、〇〇〇

貯蓄獎勵功勞者
けふの佳き日表彰

昭和十六年度に於ける貯蓄增强の目標額國家資金二億圓を達成するのみとなり、國民貯蓄獎勵[illegible]總決算たる目標額二億八千萬圓に向つて總力を[illegible]しつつあり、その成果が大いに期待されてゐる、督府に於ては本年度を通じて本運動に挺身し率先之が趣旨の普及徹底に努め國民貯蓄獎勵に功績顯著なる功勞者及び國民貯蓄組合に對し前例に依り之を表彰すべく豫て地方長官を通じて銓衡中であつたが既報の通りこれが決定を見たので、本日の陸軍記念日を卜して各州廳に於て夫々國旗名を以て表彰することになつた、其の光榮ある表彰者は左の通りである

◇臺北州（組合に對するもの）臺北州織物卸商組合聯合會貯蓄組合、北州製紙業組合會[illegible]貯蓄組合、羅東街國民貯蓄組合、本庄[illegible]貯蓄組合、基隆築港國民貯蓄組合

◇個人に對するもの　武生主藏、山元賢一、王野宏、板羽茂平太、吉田道定

◇新竹州（組合に對するもの）鍋圍庄國民貯蓄組合、[illegible]庄國民貯蓄組合、八塊庄國民貯蓄組合、湖口庄國民貯蓄組合、竹東街國民貯蓄組合

◇個人に對するもの　竹林孝一、客元[illegible]、池田佐吉、上村定治、黃[illegible]

◇臺中州（組合に對するもの）大安庄國民貯蓄組合、社頭庄國民貯蓄組合、二水庄國民貯蓄組合、和美庄國民貯蓄組合、田中街國民貯蓄組合、北屯庄國民貯蓄組合、竹塘庄國民貯蓄組合

◇個人に對するもの　赤松文[illegible]、[illegible]、柳川為[illegible]、[illegible]、周長[illegible]、竹林[illegible]

◇臺南州（組合に對するもの）新營郡小梅庄貯蓄組合、曾文郡明治製糖[illegible]貯蓄組合、嘉義市新[illegible]貯蓄組合、新化郡[illegible]貯蓄組合、北港郡[illegible]庄貯蓄組合、東石郡[illegible]

◇高雄州（組合に對するもの）旗山郡[illegible]庄貯蓄組合、新[illegible]庄貯蓄組合、北門郡佳里[illegible]貯蓄組合、[illegible]國民貯蓄組合、湖州街國民貯蓄組合、日之出村[illegible]

◇個人に對するもの　[illegible]、川佐市、[illegible]、茅原太[illegible]、馬場光[illegible]、陳[illegible]、古賀[illegible]、[illegible]

◇臺東廳（組合に對するもの）[illegible]會社新港自動車[illegible]國民貯蓄組合、臺東街[illegible]

◇個人に對するもの　篠田[illegible]、川越[illegible]、[illegible]

◇花蓮港廳（組合に對するもの）鳳林郡新社庄[illegible]、玉里郡[illegible]、林[illegible]

◇個人に對するもの　周[illegible]、[illegible]

◇澎湖廳（組合に對するもの）馬公街[illegible]國民貯蓄組合、白沙庄[illegible]國民貯蓄組合

◇個人に對するもの　宋文[illegible]、許[illegible]、有村[illegible]

優良農業戰士座談會

農家經濟と堆肥
人の和へ有畜農業（三）

座長　ヒマと[illegible]に苦闘の[illegible]あられる臺東の知本さんにお願ひします

知本弘氏　我々は常に第一線にある皇軍將兵と同じ樣な氣持で生產報國に邁進して居り、各々の職場に於て報いて居るのですが[illegible]で棉、ヒマ、米穀の增產に努力して居りますが、特に勞力の不足して居る今日はどう云ふ方法をとれば勞力不足を補へるかに着眼して共同耕作を奬勵しなければならない事を痛感し私の部落では共同耕作を行ひ班を單位に凡ての方面に亙つて共同でやつて居ります、殊に高砂族は民度が低い爲めに却々理解したいので指導の立場にある者は理論では駄目でどうしても自ら實行して見せなくてはならないので苦心しましたが、最近では大分よくなつて居ります

座長　北港郡の許助さんに米穀增產についての御苦心談を……

許助氏　我々お米作りを營むの[illegible]に何處に重點を置くかと云へば國家目的に合致する事が根本であると云ふ信念から農業を營んで居りますが、物の生產に必要な地方の施設に意を注ぎ灌水施設の完備を圖ると同時に灌漑水の利便な樣に次々に施設をする等色々やりました、又私の地方では金肥に頼り過ぎる傾向であるので之では農家經濟は立ち行かぬ譯でかなり前から堆肥に手を出し增產に努力して現在は甲當二、三萬斤から五萬斤位堆肥を入れて居ります

座長　臺東の眞榮城さんどうぞ

眞榮城朝助氏　臺東[illegible]或は增產を圖るには先づ第一に人の和が大切ではないかと考へます、私も少し[illegible]

出席者▲大川明氏（庄長、炭鑛業）▲陳榮輝氏（保甲役員、農業）▲本南政善氏（五結庄部落振興會長、農業）▲新辰太郎氏（石城街農業）▲輪湖清美氏（新竹州米穀納入組合長）▲陳海韻氏（北斗街、農業）▲林春木氏（員林街信組常務理事）▲森原秀子氏（新營街農業）▲篠崎喜代吉氏（土庫庄長）▲許助氏（水林庄農業）▲蔡萬成氏（北港街農業）▲高橋貞吉氏（高雄、水產業）▲生田目與七氏（萬丹庄長）▲日向武郎氏（玉里街長）▲知本弘氏（卑南庄農業）▲眞榮城朝助氏（知本國民學校訓導）農業會　大澤宣傳部長▲松井參事　總督府　金澤技師▲花野屋　本社　河村社長▲杉野主筆▲森岡第一部長▲岩田第二部長▲笹原▲宇野▲本間各記者

[illegible]與れて實行して呉れます、この人の和が私の部落を今日あらしめたのではないかと考へて居ります

松井參事　堆肥には是非堆肥が必要であり皇民奉公會に於ても堆肥を非常に重視して何とかして堆肥を增產させたいと考へて居りますが地方の皆さんのお話では相當堆肥を作つて居られる樣ですが皆さんの御意見から如何にすれば堆肥を作つて呉れるかうまい思ひ付きはないでせうか

新辰太郎氏　[illegible]有[illegible]と云ふ[illegible]植つける事が根本です、金肥に困つては將來[illegible]總動員でやつて行けたい、有畜農業に依ればこれは自然出來て参ります現に私の所では十分引き合ふ經營をして居ります、結局そこに進めて行かねばならないと思ひます

篠崎喜代吉氏　堆肥の製造ですが私の所の國民學校の校長さんが研究されて三週間で堆肥が出來る相です、[illegible]よつて腐合の用意はなくてもよいので、最初は硫酸と石灰を用ひて堆肥の材料を濕らし之を[illegible]時は[illegible]たものをふり撒いてやる方法で之によれば[illegible]ものでも立派に堆肥になるので一般に普及すればいいと思ひます

生田目與七氏　私の地方では青草を年に二、三回[illegible]ますので之に[illegible]たものを家畜の間に入れて[illegible]水をかけて[illegible]ここの仕事を大いにやらせて居ります

金澤技師　[illegible]た時代は堆肥を作らねば農業は出來なかつたのです、[illegible]と先に取られた所では肥料の概念がなかつたので今から堆肥をつくる事は難しい事なのです、金肥に代るものは堆肥でなければならぬ事は農民としてはこれ等と云はれる事は[illegible]事でありやる者には當然の事であり[illegible]は農民は[illegible]つてゐるとも考へられる譯です、第一線の將兵に彈丸が無くなれば戰爭が出來ないとは云へないから勇敢に突進する外ない、彈丸がなかつたのです、それでは如何にも行かないので金肥が足らぬから農業經營は不可能だと云ふ譯には行かないのです、農民も金肥が[illegible]高砂族の如く原始農業をやつて居るものなら別として堆肥に[illegible]者には不思議に思はれる程でこの堆肥の利用が望ましいと思ひます（つづく）

內外商況（九日）

株式

押目狙ひ　底意强硬

兜町前場況

【東京發同盟】開戰以來の綜合戰果發表、ジャバの完全制壓[illegible]等を入れて週末警調の氣先鋭く[illegible]長期[illegible]、[illegible]、食糧、拓殖、[illegible]大同製鋼七、九十錢高[illegible]

兜町後場況

【東京發同盟】依然として戰果とランダーン占領も積極的な手前なく無影響の姿で閑散な場面を示してゐる、從つて相場も仕手筋による[illegible]商狀を示せるに過ぎず長期帝人新、大東紡、日東紡、日產、日石、旭硝子五、八十錢工業、[illegible]、郵船、拓殖川、富士工五、六十錢安などが僅かに目立つたのみである。東株新は同事の百十錢方引締め短期新は同事の百三十一圓三十錢と寄付、一圓二十錢の高値であつて一圓九十錢とに引けた、しかしなほ目先[illegible]の戰勝材料もないので[illegible]しい保合成れも望まれないであらう

東京短期前場

[illegible]

東京長期前場

[illegible]

東京短期後場

[illegible]

東京長期後場

[illegible]

東短取組喰合

[illegible]

東京長期總取組

[illegible]

東京銀行實株

[illegible]

東京國債前場

[illegible]

大阪短期前場

[illegible]

大阪長期前場

[illegible]

大阪短期後場

[illegible]

大阪短期日歩

[illegible]

大阪長期後場

[illegible]

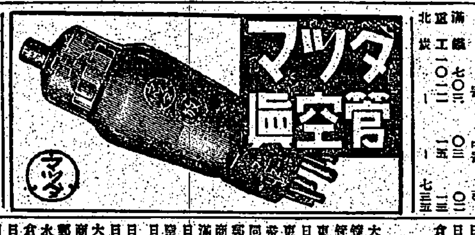
絲況

橫濱生絲前場

[illegible]

橫濱生絲後場

[illegible]



みんな働け 健康時代だ
毎朝の日課に
ハリバ
毎日の健康に…ご家庭の常備薬で召上るには五百粒入がお徳用です。

仰げよ武勳・捧げよ感謝
★祝陸軍記念日
至誠奉公・乘切れ時局

耳鼻科、咽喉科
臺北市本町二ノ六九
宮島醫院
（入院完備）
電話五六六四番

外科、肛門病科、X線科
臺北市十町三（[illegible]通り）
菅野醫院
（病室完備）
電話弐五〇六番

小兒科
臺北市表町一ノ三
武藤醫院
（入院隨意）
電話四八五九番

外科、肛門病科
臺北市本町三ノ一
菅沼醫院
（病室完備）
電話弐九五四番

耳鼻科、咽喉科
臺北市京町二丁目
藏田醫院
（病室完備）
電話五五三六・二三五番

內科、小兒科
臺北市榮町[illegible]前
天野醫院
（入院隨時）
電話七[illegible]五[illegible]番

內科
臺北市榮町二丁目
山崎醫院
電話[illegible]〇七番

產科、婦人科
臺北市大和町二丁目
福田醫院
（病室完備）
電話六九五四番

皮膚科、泌尿器科、性病科
臺北市大和町二丁目
三粮丸醫院
（病室完備）
電話七六八五番

產科、婦人科
臺北市京町三丁目（[illegible]通り）
鶴田醫院
（入院隨意）
電話四四九七番

小兒科
臺北市新起町一丁目
石井醫院
電話（[illegible]）七九六（病室）八九[illegible]番

小兒科
臺北市京町一ノ五二
關屋醫院
（病室完備）
電話[illegible]四六番

織物卸商
臺北市大平町三丁目
株式會社菊元商行
電話二七三二番

織物卸商
臺北市本町一ノ一八
日進商會
電話[illegible]番

臺北市本町
福田吳服店
電話[illegible]番

臺北市榮町二
藤井吳服店
藤井製綱營業所
電話[illegible]番

臺北市大平町三丁目
株式會社松井商行
電話四七八四番

臺北市本町二丁目
株式會社桑田商店
電話[illegible]番

臺北市本町二丁目一四番地
株式會社西尾商會
電話二〇三〇番

新刊書籍は
臺北市榮町一ノ二〇
新高堂書店
電話[illegible]番

大谷金庫
阿部金庫特約店
臺北市本町一丁目
長谷川商行
電話[illegible]番

小間物化粧品商
臺北市榮町二丁目
榮屋
電話七八三六番

眼鏡
臺北市榮町
鎌野時計舖
電話[illegible]番

クスリの御用命は…
臺北市榮町四丁目
廣生堂藥舖
電話[illegible]番

福福協カゼ藥妙藥本舖
臺北市兒玉町
南門藥局
電話[illegible]番

けふ輝く陸軍記念日

【東京電話同盟】畏くも宣戰の大詔渙發あらせられてよりわが忠誠勇武の將兵が百日足らずにうち建てた燦然たる大戰果は早くも新紀元に亙る東亞の相貌を一變せしめた、國民の心は明るく晴れた、しかも聖戰完遂の確信に滿ち溢れてゐる秋けふ一入感銘深く大東亞戰下初の陸軍記念日を迎へるわれらはこの意義ある日をして今こそ大東亞新秩序建設指導者たるの國民的信念を愈々と心に確立せんとしてゐるのだ、しかも作戰毎に各地の民衆は皇軍の威容に接し齊しく大東亞民族としての自覺をよびおこしつつあるのだ、これぞ大東亞共榮圈建設でなくして何であらう、われらはここに大東亞共榮圈建設の理想のよつて立つべき基礎を見るのだ、今こそわれら一億國民の皇軍に寄せる信頼の念は愈々深く感謝と感激は溢れんとしてゐる、曾て皇國に死を賭して戰へる日露戰爭に幾々の偉勲を建てた父祖先輩をここに偲び戰ひが如何に長期に亙らんとも斷乎且つ[illegible]に努める二大構想下總力を結集し米英擊滅最後の日まで戰ひ拔く誓ひを新たにしなければならないのだ

必勝の信念堅持し
擧島・征戰完遂に邁進
島都・多彩な記念行事

けふぞ大東亞戰爭下に迎へる最初の陸軍記念日、大陸に國運を賭した日露戰役の勝敗を決定した奉天大會戰の思ひ出はかくてここに三十七度めぐり來つたのである、我等はこの日戰爭が

大東亞 戰爭の前途を明確にし、皇軍不敗の歴史と今次未曾有の大戰果を想起し大東亞共榮圈確立の信念を堅持し、今次の赫々の大戰果を前にして更めて皇軍將兵に對し感謝の念を新にすると共に國民生活の反省と緊張の努力とをしなければならない、この日六百萬島民の必勝の意氣を一段と昂揚して堅忍持久、一億一心、眞に[illegible]突破に邁進するの國民的決意を強調する意義深き記念行事を同日を第一日とする一週間に亙る多彩な島都陸軍記念週間行事が各部々々に

華やかに 展開される、

この日島都では各戸國旗を掲揚し[illegible]、講話、模擬戰および[illegible]等が[illegible]の催しが行はれるがその主なものは次の通りである

△**模擬戰**（臺北州主催）臺灣第三、第五兩部隊や臺灣學生[illegible]も特別參加し、學生[illegible]の壯烈な[illegible]が展開され、終つて午前九時半から總督府前では分列式が行はれる

△**講演と映畫の夕**（[illegible]主催）午後七時から公會堂で開かれる、[illegible]有田兵事部長の講演と各種映畫が上映される

△**記念映畫會**（本社主催）正午から五時迄二回に亙り無料公開、臺灣軍報道部、皇奉臺北市支會後援、映畫は軍報道部提供の「日本民族」「父よあなたは強かつた」「軍艦の乙女」および最近の日本ニュース數卷

△**臺灣神社、陸軍墓地參拜** 各團體代表は市民を代表し參拜すること

△**從軍座談會**（日[illegible]主催）午後六時會員一同建功神社に參拜し終つて七時から京町[illegible]

「[illegible]」で小出正吉氏の「大東亞戰爭と[illegible]」と題する講演をきき、それより座談會に移る

市內鄕軍分會で記念式擧行

[illegible]

小林陸軍大佐けふ臺大で講演

臺北帝大では十日午後三時より附屬醫專[illegible]に於て左記の講演會を開催して[illegible]大東亞戰下に於ける士氣の昂揚を圖ると

日露戰爭の回顧と[illegible]せる實戰の一端　陸軍大佐　小林忠雄氏

へ臺北市內の鄕軍各分會では十日夫々陸軍墓地、建功神社に參拜し、また記念式の擧行及び講演會の[illegible]など諸行事を行ひ陸軍記念日を一段と意義あらしめる事となつた、城北分會では午前六時[illegible]國民學校に會員が集合し、直ちに行軍[illegible]陸軍墓地、建功神社に參拜又城南分會では[illegible]で記念式を擧行城東分會では同夜七時から[illegible]で時局講演會を開き五[illegible]の「日露戰爭を偲びて我等國民の覺悟」および[illegible]本願寺院主の「大東亞戰爭の歴史的[illegible]」と題する講演が行はれる

自製國旗掲揚臺を獻納
海軍武官府に北二中から

[illegible]海軍武官府の[illegible]では同[illegible]に設置された[illegible]十尺の[illegible]國旗掲揚臺を獻納することになり九日同校生徒四十名が今井校長外二名の教官に引率され〝エッサエッサ〟のかけ聲も勇ましくこれを擔いで臺北[illegible]官府に獻納したが[illegible]に白水、[illegible]中佐はこの若人達の赤誠[illegible]感謝してゐた

【寫眞は持ち込む北二中生徒と國旗掲揚臺】

父祖先輩に感謝捧ぐ
一億國民征戰完遂へ更に奮起
奉天會戰偲び東條陸相談話

【東京電話同盟】東條陸軍大臣は本十日第三十七回陸軍記念日を迎へ奉天會戰を偲び左の如き談話を發した

思へば三十七年前の今日奉天會戰の快戰をもつて克く敵の死命を制し、爾來皇軍日本は世界の雄邦として列強の間に重きをなし、遂に今日の隆盛の根基を形成した、然し乍ら當時帝國は全く[illegible]して正義のため[illegible]を[illegible]

擧國 眞に[illegible]の一丸となり、遂に[illegible]を屈服せしめたのであつて、吾人はこの輝かしき記念日に方り、この偉業を[illegible]皇國の盤石の安泰に[illegible]、東亞の安定を確保したる父祖先輩に感謝の赤誠を捧げ、進んで大東亞戰爭の完遂を期す[illegible]はなければならぬ今次大東亞戰爭はまた皇國日本の自存自衞上決然蹶起したるものにして、眞に止むに已まれぬ一戰であるが、御稜威の下に光輝ある戰果を[illegible]し、日夜不斷の[illegible]に精進せる皇軍は[illegible]なき米英[illegible]諸國の[illegible]を[illegible]すべく、今や[illegible]の東亞[illegible]の牙城を相[illegible]いで攻略[illegible]

萬里 [illegible]將兵の[illegible]の下にあらゆる[illegible]を[illegible]つつ敵の[illegible]たるの[illegible]に[illegible]び立つて大東亞共榮圈建設のため[illegible]聖戰完遂に邁進しつつあり、[illegible]に深甚なる感謝の念を[illegible]ざるを得ないものがある、[illegible]ふ[illegible]に[illegible]國民[illegible]する[illegible]、何卒更に[illegible]陸海軍[illegible]ることを[illegible]

皇軍へ無限の感謝
全島の感謝週間行事始まる

この前古未曾有の重大時局に處し一億國民が齊しく感謝の心を心として更に奮起せられ、皇紀二千年の歴史を穢さざるやう[illegible]の精神に燃え、いかなる困苦にも堪へつつ最後の勝利に向つて一意邁進せられんことを切望する

[illegible]るは[illegible]今後にあるといふべく、[illegible]

大東亞戰爭の赫々たる大勝利の中に第三十七回陸軍記念日を迎へ我々は今更ながら皇軍の偉大さに[illegible]すると共に[illegible]も[illegible]く將兵の勞苦に對し心から頭を下げるのみである、我が臺灣では[illegible]この記念日から十六日迄を皇軍感謝週間と定め、六百萬島民は心からなる感謝の誠を披瀝する事となつたが、この皇軍感謝週間は愈々けふから始まる、週間中には每日[illegible]の[illegible]に感謝を捧げ皇軍の武運長久を祈念することになつてゐる、前古未曾有の大戰爭中にも拘らず只一回の空襲さへ受けず、我々はこのやうにして毎日平和に樂しく[illegible]がいた

基隆要塞司令官井上少將
官民に惜しまれて現地某要職に榮轉

【基隆電話】現地某要職に榮轉した前基隆要塞司令官井上[illegible]少將は昭和十[illegible]年八月、大東亞戰下本島の[illegible]地帶の護りを全うし傍ら市民との接觸に[illegible]市防空協會の[illegible]として[illegible]の防空防諜の[illegible]指導[illegible]に大きな功績を殘し人[illegible]司令官として惜しまれつつ任地に[illegible]が離臺の前日井上[illegible]は基隆[illegible]に於て記者團に對し[illegible]な[illegible]の[illegible]を[illegible]めて[illegible]の如く語つた

昨年七月十[illegible]日着任以來丁度八ケ月になり短時日ではあつたが官民各位の[illegible]援助と[illegible]により[illegible]の[illegible]に任ずる事が出來何より[illegible]に堪へない、特に感じた事は市民の[illegible]が[illegible]よい所である、[illegible]を通して各方面との連絡がよくとれ[illegible]ないのに規則正しい[illegible]より[illegible]の[illegible]がよく出來てゐる、今後も大東亞戰の[illegible]國民の[illegible]のために[illegible]

つてこの[illegible]の[illegible]を[illegible]されん事を[illegible]、市民の[illegible]により設けられた基隆市防空協會の[illegible]の如きは內地及び島內の何處よりも[illegible]の[illegible]を[illegible]に堪へない、小[illegible]が現はれた如く[illegible]限らないので[illegible]に[illegible]今後益々南方第一線の基隆市民各位の防空の完璧と[illegible]の[illegible]をお願ひする

志願兵訓練所規程
けふ公布
愈よ六月・榮ある第一回訓練所生入所

志願兵への登龍門、憧がれの志願者訓練所は臺北市三張犁の一部に約三萬二千五百坪の廣大なる敷地を擁して早くも建設工事に着手して居るが、總督府では十日[illegible]を以て「臺灣總督府陸軍兵志願者訓練所規程」を公布、訓練所の目的、入所資格、訓練科目、訓練期間等を明かにした、即ち訓練所は[illegible]

[illegible]には「訓練所は[illegible]の[illegible]に[illegible]すること」を[illegible]としたる者に[illegible]を[illegible]し心身を鍛錬し[illegible]以て皇國臣民たるの本分を[illegible]しむると共に[illegible]を[illegible]ある[illegible]あり、訓練科目は[illegible]

一、訓育科 [illegible]

二、普通學科 [illegible]國語、國史、地理、算數、理科等に關し[illegible]國民[illegible]以て[illegible]を[illegible]

三、術科 [illegible]、教練、武道其の他軍事に必要なる[illegible]

[illegible]は[illegible]六月及十二月の二回で[illegible]期間は[illegible]として六ケ月、入所[illegible]の[illegible]を示して[illegible]

任官[illegible]、[illegible]人（內[illegible]三人、[illegible]七人）[illegible]として定められた、[illegible]府では十日訓練所規程と同時に[illegible]第一二五號を以て「[illegible]」を公布（[illegible]）[illegible]斯くて志願者[illegible]の[illegible]に[illegible]し[illegible]六月[illegible]第一回[illegible]入所し[illegible]志願兵への第一歩を踏み出す[illegible]になつた

志願兵志願者受付
けふ午後四時まで

[illegible]

武勳輝く勳章親授式
陸軍四十五將軍、海軍二十提督

【東京電話同盟】畏き邊りでは支那事變從軍者に對する行賞の內昭和十五年三月二十九日附で功二級旭日大綬章を賜はつた今村陸軍中將以下陸軍將官四十五氏並びに海軍大將[illegible]以下二十氏に對し九日午後二時から宮中鳳凰ノ間に於て東條首相侍立の上勳章親授式を御擧行、今村、河邊、飯田、[illegible]、原田、飯村、北野各陸軍中將ならびに沼田陸軍少將、今井、[illegible]、谷本、細萱各海軍中將を除く各將官に對し大元帥陛下には親しく勳章を授け賜うたが光榮の將星氏名左のごとし

陸軍

功二大綬　中將　今村均
功二旭一　同　國崎登
功二旭一　同　河邊正三
功二旭一　同　飯沼守
功二旭一　同　橋本群
功二旭一　同　吉本貞一
功二旭一　少將　沼田多稼藏
功三旭一　中將　木村兵太郎
功三旭一　同　河村董
[illegible]

海軍

大綬　大將　加藤隆義
旭一　中將　前田政一
[illegible]

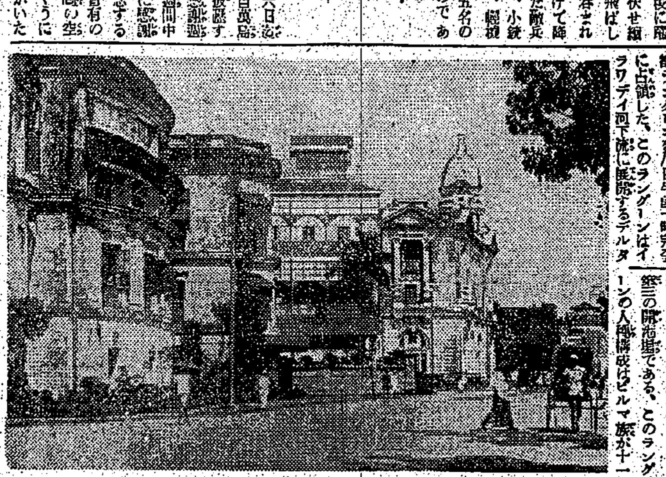
選擧の倫理化運動
各國體翼贊選擧打合會

【東京電話同盟】大政翼贊會主催の「各國體翼贊選擧打合會」は九日午前十時半より丸の內同會[illegible]で開催、[illegible]以下各[illegible]、內務省[illegible]、[illegible]その他[illegible]十六團體代表など約五十名出席[illegible]

忠勇九勇士へ弔慰金
海軍武官府に島民の赤誠續く

その武勳は後の世までも傳はるであらう、然しながら軍艦[illegible]に參加し[illegible]と散り果てた殉國九勇士に思ひを馳せ感激に耐ゆる一億の眞心より寄せらるる弔慰金の[illegible]で[illegible]は盡きることなく九勇士の[illegible]の光の如く燦然と世界戰史上に輝やく[illegible]に於ける我が無[illegible]の特殊潛航艇が[illegible]した大戰果は永遠に讚へられるものであり本島でもこの[illegible]の報が[illegible]以來二ケ月目に公表されてより追慕の[illegible]が[illegible]と現はれ海軍による[illegible]に[illegible]された九日臺北海軍武官府に[illegible]された[illegible]は左の通りであつたが同武官府ではこの[illegible]の至情に深く感激してゐる

△二十圓　臺北市川端町一五四第五十[illegible]一同
△四圓三十[illegible]　臺北市[illegible]二ノ[illegible]
△二十圓　臺北[illegible]三ノ三[illegible]
△十圓　臺北市本町二ノ六九[illegible]
△十圓　臺北本町三ノ三[illegible]
△十圓　大阪市北區[illegible]
△五圓　臺北市大和町三ノ二[illegible]
△五十錢　臺北市[illegible]
△三圓　臺北市北門町九第一タクシー一同



英兵六百を捕ふ
五勇士の勇猛

【モバリ（ビルマ）にて九日發同盟】赤[illegible]部隊第一線の野村文雄兵長（[illegible]）以下五名の兵士が敗走の英兵六百を捕虜にした話

去る二十四日の朝、モバリン南方四粁の地點に一行が差しかかつた時シッタン河に沿つて逃走せんとする敵の[illegible]の殘敵を認めた「それつ」とばかりに野村兵長以下は[illegible]に[illegible]にもわが軍を[illegible]と見た敵は最後の抵抗を試みたが[illegible]に[illegible]弾となつて五名は[illegible]の敵中にまっしぐらに突進、遂にシッタン河畔まで追ひ詰め野村兵長は[illegible]で抵抗する英人將校に躍りかかり一擊の下に引き伏せ[illegible]いて他の英人將校を[illegible]ね飛ばした、この勇猛振りに[illegible]を奪された敵[illegible]の[illegible]は忽ち手を擧げて降伏、泳いで逃亡せんとした敵兵も加へて合計六百七十名、小銃五百五十、水冷機關銃十、輕機五、山砲一、しかも僅か五名の兵によつて擧げられたのであつた

重慶輸血路の起點
蘭貢 九十年前は一漁村

【重慶】[illegible]たる蘭貢は[illegible]平野の南部にあり、イラワディ河の分流ラングーン河の北岸に沿うて海岸から三十哩離れ、人口三十七、八萬、印度を合せて第六位の大都カルカッタ、ボンベイにつぐ第三の開港場である、このラングーンの人種構成はビルマ族が十一[illegible]

わが[illegible]陸軍部隊は既に[illegible]ルメインを占領しサルウイン河を[illegible]に[illegible]部ラングーンを八日午前十時完全に占領した、このラングーンはイラワディ河下流に展開するデルタ[illegible]

[illegible]過ぎず、印度人の方が遙かに多い、[illegible]人の數も近年續々増加し二萬人以上に上つて居る、都市としてビルマや印度に多い昔からの古い歴史を持つて居るのではなく、今から九十年前一八五二年までは沼澤の多い一漁村に過ぎなかつた、英國がここを領有してからフレザーと云ふ一陸軍中尉の設計で近代都市として根柢から築き上げられたのだから[illegible]によく整頓し

東西 に長く南北に短く[illegible]と商業地区と山手住宅街とに分れて居る、併しこの行政區分は道路[illegible]地區に通づる[illegible]に、山手は[illegible]の管理となつて居り[illegible]は總てアスファルト舗裝でアカシアの街路樹が[illegible]と緑陰を作つて居る、商業街の十字路にはスーレ・パゴダが[illegible]え、ロイヤル湖の丘上にはビルマ最大で[illegible]なシュウエ・ダゴン・パゴダがある、これが夕陽を受けて金色に光る時その[illegible]は一寸他に比類がない、かくの如く[illegible]たる都市ではあるが[illegible]と云つた[illegible]がないだけに名物としては[illegible]なく[illegible]工、金銀細工位なものである、ラングーン市の郊外ラングーン、マンダレー線を二時間位でペグの大佛がある、この偉大な煉瓦作りの上に[illegible]めた身長一八一フイート肩の高さ四六フイートと云ふ

巨大 なもので一八八一年鐵道工事中赤土を求めてこの丘を掘つた時これを地下に發見し完全に修理した、この歴史は九九四年ミガデイクペ・ミジネによつて建てられ一七五七年ペク王の滅びる迄は信仰の中心となつて居たものである

【寫眞はラングーン市の中心街ストランド路】

俘虜監督指導者銓衡
けふ市民講堂で施行

[illegible]

新竹檢察局で司法警察官實務講習會開催

【新竹電話】新竹檢察局では司法警察官の人格向上並に[illegible]を圖るため[illegible]警察官に對する現地指導を行ひつつあつたが來る二十三日からは更に六日間の豫定で[illegible]檢察官[illegible]となり同檢察局に於て實務講習會を開催する事となつた

米英の敗戰を非難
重慶・抗戰に絶望感深まる

【廣東支局電】大東亞戰に於ける米英の敗退を契機として重慶陣營には米英を蔑視しその戰爭に[illegible]されつつある一方[illegible]

抗戰 に[illegible]する限り愈々絶望感を深めつつある[illegible]が現はれるに至つた、十九日の重慶大公報は[illegible]に[illegible]し「[illegible]合軍が二ケ月支へたところを支那軍が防禦してゐたならば約五ケ年は支へ得たであらう」となし[illegible]に七十日にして[illegible]米英の力がゼスチュアーばかりの無力なものであつたことを[illegible]し、自[illegible]的に米英への[illegible]から解放されつつあることを表明するものである、又蔣介石の印度訪問もその一[illegible]を[illegible]べく彼が印度を訪問してビルマの共同防衞を[illegible]したのみに止まらず、ガンヂー、ネール等と會見して直接印度民衆に對して彼等の所謂反侵略陣營結成を呼びかけたことは正に印度に於ける

英國 の支配力を蔑視して支那と直接に[illegible]の要求を[illegible]かんとしたものである、[illegible]これに[illegible]して十九日重慶の[illegible]主世杰は[illegible]記者[illegible]との會見で蔣介石の今次印度訪問は多分直接的效果を狙つたものではなく寧ろ長い前途を見透して圖られたものであらうと述べてゐる、斯る[illegible]に於て只[illegible]日抗戰に[illegible]する限り米英の[illegible]によつて益々[illegible]つつあるのは[illegible]と云はねばならぬ、[illegible]

支那 方面では現在行はれてゐるが、然し若し大規模反攻に出ようとすれば勿論援助が必要である[illegible]

反攻と援軍とは或る程度迄不可分のものである小規模の反攻は[illegible]、[illegible]

[illegible]で、前記王世杰が十九日記者團に對する談話に於て今後對日反攻に[illegible]言及しつつあるも自らも又日本軍の[illegible]に非ざるところは[illegible]知るところ[illegible]

大東亞戰爭
戰利品展けふ開幕
入場無料・一般市民の觀覽を希望

皇民奉公會臺北市支會主催、大東亞戰爭戰利品展覽會は[illegible]

得意の指揮で武官府を慰問

[illegible]

ラジオ

◇七・〇〇　時報・ラジオ體操
◇七・三〇　國民の誓ひ（東京）…[illegible]
◇八・五〇　ラジオ體操
◇九・〇〇　國民學校放送…朗讀[illegible]
◇九・一〇　國語普及講座（臺中の[illegible]）
◇九・三〇　戰時家庭の[illegible]
◇一〇・〇〇　幼兒の時間
◇一〇・三〇　戰時家庭の時間（東京）…[illegible]
◇一一・〇〇　國民學校放送…[illegible]
◇一一・三〇　朗讀…[illegible]
◇一二・〇〇　[illegible]
◇二・〇〇　[illegible]
◇四・二〇　[illegible]
◇五・五五　コドモのニュース
◇六・〇〇　少國民の時間…シンブン…[illegible]
◇六・二〇　[illegible]
◇七・二〇　第三十七回陸軍記念日[illegible]
◇九・〇〇　[illegible]

企業許可令の解説
勞務調整令の解説
大同書院

ペンミ計算尺講習會
[illegible]
時間 午後6・30―9・30（何レモ共通）
株式會社 逸見製作所
代理店・內田洋行

第六回決算公告
第一回決算公告
南方常設館
解散公告
三叉茶業株式會社
共益自動車會社
明るい印刷 精美堂
[illegible]

蘇澳郡南方澳漁村部落電話開通廣告
三月拾日より南方澳漁港部落の電話が開通しました御利用願ひます
加入者一同
[illegible]

帳場 男女問はず一名入用 料亭 竹巴

測候技術官養成所入所生募集
一、募集人員 約五十名
二、修業年限 一ケ年
三、志願者資格 [illegible]
四、申込期限及場所 昭和十七年四月五日迄 臺北市文武町臺灣總督府氣象臺庶務課
五、入所試驗日時場所及科目
1、日時 四月十日
2、場所 臺北市文武町臺灣總督府氣象臺
3、科目 數學、物理、英語、作文
六、其ノ他詳細ハ當氣象臺庶務課ニ照會セラレ度シ
昭和十七年三月十五日
臺灣總督府氣象臺

公告
臺灣セメント株式會社（變更）
一、取締役金子喜代太ハ昭和拾七年貳月貳拾四日辭任ス
一、東京市目黑區中目黑[illegible]山口利一郎ハ昭和拾七年貳月貳拾五日取締役ニ就任ス
臺灣セメント株式會社

生徒募集
豫科一年六十名、豫科二年百名、本科一年八十名、別科六十名
私立成淵學校

案內
[illegible]

思ひは野戰、傷病兵へ

現地派遣看護助手訓練

高雄病院に見る

【高雄電話】若く皇國に殉ぜんとして蹶起した本島青年の志願兵志願熱が怒濤の赤誠となつて躍動"軍夫"へ[illegible]の感激が語られてゐるとき"女のわたしたちは銃後で不幸傷つかれた兵隊さんを看護し"と眼めて上げたい"と陸軍公の聲をたゞ一すじの乙女心に日赤救護の現地派遣看護助手志願へと殺到した、かうした健氣な女性が高雄州だけでも六百八十名の多數に上り熱烈な試驗を經るなかに銓衡された三十五名のうち第一班として十八名が既報の如く二月二十五日高雄醫院に入所して訓練を受けてゐる、三週間の訓練もあと旬日を餘すのみとなつて不馴れな看護や措置を學びの訓練に汗をにじませ或は細かしい看護法の講義に聴き入る彼女らの瞳は、心は、いみじくも氣高いものがある——既に海にそして空に精強無比な皇軍の赫々たる戰果の蔭には惜しくも銃彈に傷つき又は不幸病魔に冒され野戰の病床に日夜を呻吟し悲憤の涙に沈んでゐる勇士達の尊い身があるのだ——彼女らの胸奥を去來するものは恐らく白衣の感動であらねばならない、熱く[illegible]ぶる野戰の病棟に勇士達が待つてゐる、咲け！におひこぼるる白百合の如く

（寫眞は高雄醫院での訓練狀況）

三十八年前を想起

高雄州"皇軍感謝の日"

【高雄電話】皇民奉公會高雄州支部では大東亞戰下始めて迎へる陸軍記念日の三月十日三十八年前奉天の荒野に日章旗へんぽんたりしその感激を想起し、今次の赫々たる大戰果を前に州民生活の反省と感謝を促すため高雄、屏東兩市における講演會の開催、正午には州民こぞつて護國の英靈に感謝並に皇軍の武運長久を祈念する外生活の簡素化、國防獻金等の供出を促進せしめる筈である、又高雄市ではこの日をして意義あらしめると共に市民の旺盛なる士氣を振作するため軍官民一體となり盛大なる[illegible]を實施、[illegible]終了後は市役所前中央廣場で閲兵分列行進が行はれる事になつてゐるので注目の的となつてゐる

陸軍記念日　彰化の行事

【彰化電話】彰化市では決戰下第三十七回陸軍記念日を迎へて當時を追想し併せて大東亞戰爭完遂への誓ひを新にすべく左の通り記念行事を遂行する（一）國旗掲揚市内全戸（二）神社參拜各團體奉公班毎に參拜（三）記念式午前八時神社（四）[illegible]奉仕（五）[illegible]大會午前九時より女學校講堂（六）講演會午後八時於女學校（七）記念運動會各國民學校毎に開催す

古山高等法院檢察官長視察

【臺中電話】古山高等法院檢察官長は九日午後一時八分來中州市法院等を訪問視察、十日は臺中に滯在十一日午前九時十分發南下する

桔梗倶樂部結成

二十一日花蓮港直ちに錬成會

【花蓮港電話】都市における未婚女性に時局の認識を深めると共に決戰下緊要なる知識技能を授け皇民奉公運動に挺身せしめる目的を以て皇奉花蓮港支部では今回市内における未婚女性の有志を以て桔梗クラブを結成する事になり部員を募集中であつたが、既に定員に達したので來る二十一日午後二時から昭和寮講堂で盛大な結成式を擧行し引續き第一回錬成會を二十日間毎日午後四時半から二時間實施する事になつた、實施科目は時局講話、皇民錬成、家庭防空、救急看護、國民禮法、家庭衛生、經濟生活、[illegible]、作法等で講師は夫々專門家に依頼する事になつてゐる

三萬四千餘　臺中州の志願者

【臺中電話】志願兵應募の受付も愈々十日を以て締切るが臺中州下の志願者數は九日現在三萬四千百七十名で締切迄には大體三萬五、六千人に達するものと豫想されてゐる

宜蘭九日の受付六十三名

【宜蘭電話】九日宜蘭市の志願兵志願者は六十三名でその内には[illegible]家山氏一家四人があり、累計二千九百四十名となつた、泣いても笑つてもけふで三千名を突破するかしないか一に市民の熱意にかかつ

昂る志願兵熱　新竹市二千名を突破

【新竹電話】新竹市の志願兵志願者は二月末で千八百三十名となつてゐたところその後他地出稼者及び個々の都合により遅れてゐた者の出願が續き七日正午現在二千三十四名となり兵事係では夫々日割を定めて人物考査を行ふ事になつ

阿公店溪　治水、ダム工事

【岡山電話】昨年來資材關係で中止中の高雄州岡山郡阿公店溪、治水工事並にダム工事は愈々本年三月より再び着手される事となり、目下川上府技師外關係職員が現地に赴き準備中で萬端整つてゐる、本工事は總豫算約三百五十萬圓程度にて此の内、約六分の一が所謂受益者に依る地元負擔となるわけであるが本工事完成の曉には莫大なる水害（特に阿公店方面）が完全に跡を絶つ事が出來ると共に農業時に於ける灌漑用水として生産擴充にも利用される、岡山郡下農業界の前途に洋々たるもので今より大いに期待されてゐる

嘉義神社改築造營

今秋大祭までには竣工

【嘉義電話】嘉義十萬市民の守護神嘉義神社改築造營工事は市民を始め臺南州民の赤誠である奉贊金三十萬圓を以て皇紀二千六百年の十一月一日に地鎮祭を執行、工事に着手以來着々工事を完了して殿舎に大分通り出來上り本年の秋季大祭迄には竣工するものと見られてゐる、因みに神社の參拜者數は年を追うて增加し十六年中には延人員七十萬を突破せんとし特に本島人方面の參拜者が激增し時局柄喜ばしい現象とされてゐる

神饌田　田植祭

【[illegible]電話】[illegible]郡農會青年團では十一日午前十時より[illegible]庄[illegible]農事試驗場に於て神饌田田植祭を執行する

農村青年錬成　皇奉宜蘭支會

【宜蘭電話】皇民奉公會宜蘭支會では第一回農村青年錬成會を十一日より十日間[illegible]で開催する、[illegible]

婦人委員會　皇奉花蓮港廳支部

【花蓮港電話】皇奉花蓮港廳支部の婦人委員會では九日午後一時から女學校内で本月の常會を開催、委員二十名出席、奉公班の婦人常會に關し委員の體驗談を發表、昭和十七年度實施事項につき協議し餘暇として淺井旭嶽氏の琵琶演奏あり三時過散會した

屏東郡警察課員非常召集

【屏東電話】屏東郡警察課では九日午前九時課員の定期召集を行ひ阿緱神社に參拜、公園廣場で武裝教練ののち部長訓示あつて午後四時終了した

第四部隊で猛訓練

臺南州警察官質的向上へ

【臺南電話】臺南州警察部では時局下警察官の[illegible]四十五名に對し[illegible]部隊に合宿せしめ部隊の教練指導下に軍事教練を實施、この短期間の軍隊教育により陛下の警察官としての素質向上を期してゐる、[illegible]"行"を中心とした錬成を行つてゐる外、今囘始めて[illegible]として來る十二日より十四日迄[illegible]

臺東蕃害犠牲者追悼式擧行

【臺東電話】臺東廳下の[illegible]

看護助手の訓練　①

行け傷兵の下

銃後に咲いた譽の乙女

看護助手訓練所の看板は陸軍特別志願兵訓練所よりも一足早く、すでに全島各地の訓練所は張り切れる樣な熱意と熱情にもゆる乙女に猛訓練を實施してゐる、以下は二月二十五日より臺北所在の赤十字病院に合宿、一日も早く立派な白衣の天使となつて國を護つた勇兵を、この手で、この心で看病しようと一生懸命に院長以下教官、指導員の訓練を受けてゐる臺北州看護助手派遣前の訓練狀況……

モンペイの上に白のエプロンをかけた乙女部隊——これぞ戰爭開始後には恐く第一線の野戰病院に征き傷つき兵隊さんの妹として姉として心から看病すると云ふ優しい乙女達なのだ、千二百餘名の中から嚴選された四十五名（内二名内地人）、彼女達はほとんど本島人である、男達が志願兵として起ち上つた時、彼女達もこの日を待つてゐたのだ、ああ、彼女と乘え立つ一身に責を負つた彼女、今は只だ勉強、技術の修得、大和撫道の體得を一日千秋の思ひで己れのものとするのみである、訓練所一日の日課を摘記すれば起床午前六時、二十五分間で點呼、洗面、掃除、同六時半體操、更に朝食、各病室[illegible]、同九時から午後五時までは[illegible]、治療、介補、臨床檢查補助、救急法講義、藥物講義、その他實習訓練、夜は科外講話その他禮儀作法等日本婦道の修得等である

看護助手は雄々しく、銃後の乙女の名譽をかけて……

困つた"數字"だ

臺中・佐藤檢察官語る

【臺中電話】臺中地方法院檢察局の昭和十六年度に於ける取扱ひ件數は七千八百八十九件でその內[illegible]事犯の四千八百四十五件が斷然首位を示し、[illegible]十三千[illegible]六件、詐欺五百五十件、横領百八十一件その他となつてゐる、本年度一月中の受付は八百十二件に對し經濟事犯百三十一件、二月中は三百八十八件に對し百七十六件を占めて居り、決戰下一般邦人の時局認識と自肅を要望されてゐる、右につき佐藤檢察官は語る

經濟事犯は大東亞戰爭勃發以來幾分減つた樣だが、豚肉屠殺違反者が激增しつつある事は遺憾にたへない、價格統制令違反者の一部分は知らず／＼の内に引掛つたものである樣だ、今少し公定、協定價格其の他法規の研究に關心を持つて貰ひたい

彰化防衛團歌入選者決る

【彰化電話】彰化市防衛團中央分團では團員の士氣を鼓舞すべく豫て團歌を募集中の所多數の應募者があつたので八日午前十一時より商工會議所に於て古妹市助役、有福指導官松崎分團長以下幹部列席の下に嚴重審査の結果、左の通り入選者を決定した

一等　臺中市村上町　伊津野千秋
二等　彰化市南門　呂大椿
三等　同北門外吉永發郎、同彰化市過溝子小松勉

勤勉手當を獻金

高雄市交通課員の赤誠

【高雄電話】この正月以來毎月勤勉手當の百分の一宛を國防獻金する事を申合せ既に二回に亙り實行した高雄市交通課從業員一同は、三月分として二十一圓四十錢を醵出し[illegible]氏が代表となり九日本社支局を訪れ取次方を寄託したので直ちに高雄海軍司令部に手續をとつた

農組指導員配置

臺中州の食糧增産計畫

【臺中電話】臺中州では決戰下食糧增産の推進力として州下千百四十の農事實行小組合に立派な指導者を配置する事となり、昭和十六年度中に州下七ケ所の實踐農業學校で第二十回の指導者錬成講習會を開き四百名の農業戰士を得て各小組合に還元、州の農業施策に順應し堆肥の增産、水稻密植等部落民に率先身を以て農村指導に當つてゐるが、十七年度は更に三百五十名の指導員を養成する事になりこれと呼應し州農會でも十三萬圓の補助金を計上し小組合の指導者助成に努める事となつた

"臨教"修了式　義教實施に備ふ

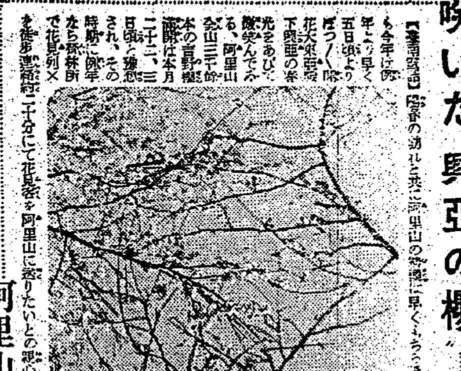
【臺南電話】義務教育實施に對處する教員の養成補充のため臺南師範に附設の臺南州臨時教員養成所は十四日、午前十時より九十九名の[illegible]修了式を擧行するが、巣立つ教員は新年度の州下學級增の各學校に夫々振當られる

高雄州で甘蔗作懇談會

【高雄電話】高雄州では十二日午後一時から蔗作懇談會を開催、四[illegible]

咲いた"興亞の櫻"

阿里山鐵道近く開通



【臺南電話】陽春の訪れと共に阿里山の樹海に早くも今年の初の沼の平辺りの吉野櫻が今年は例年より早く五日頃よりぽつ／＼咲き初め大東亞戰下興亞の春光をあびて微笑んでゐる、阿里山全山三千餘本の吉野櫻満開は本月二十二、三日頃と豫想され、その時期に例年なら[illegible]で花見列車の運行を見る筈だが今年は[illegible]災で阿里山線に復舊工事未だ成らず、その爲め當局で何とかして開通せしめたいと懸命な努力を拂て居り、十五日頃迄には平遮那より二萬平迄を徒歩連絡約二十分にて花見客を阿里山に送りたいとの親心から目下復舊工事を急いで居る

東港郡聯合壯丁團檢閲

【東港電話】東港郡聯合壯丁團檢閲は十六日午前八時より東港國民學校で擧行、八木[illegible]課長臨席[illegible]

人事

△藍田臺東廳長　十日午後出府[illegible]
△明知延信氏（臺東廳[illegible]）出府中八日歸任
△惣田喜一氏（臺東市學校長）出府中九日歸任

愛の赤道（8）

竹田敏彦
都竹伸一畫

陸と日向（一）

「お兄さん、お兄さん……」

誰かの呼聲に、はつとして眼を醒ますと、

「お眼醒めになつて？」

まだ半睡のぼんやりした二郎の眼先へ、ぬつと、色白い女の顔が覗き寄つた。

「おや／＼、家で寢てゐたのか」

二郎は、初めて我に返つて、不思議さうにあたりを見廻した。

かつちりと上つた障子に、暮れかけた夕陽が、庭木の影を黒く落して、何處かで囀しく小鳥の聲がした。

紛ひもなく、生家の離れ座敷だつた。

「ほゝほゝ、何を仰有つてゐらつしやるの。お午前に、お歸りになつたんぢやありませんの」

大形な銘仙の袂が、派手に枕許で動いて、顏の上から白い顏が惡戯らしく笑みかけた。母と一緒に宥へ迎へてくれた從妹の兎子だつた。

「さう云へば、さうだつたつけな……何しろ、長い旅だつたからね。まだ夢心地さ」

二郎は、重い羽根蒲團を除けて、半身を起したが、

「さういへば東京だ。なるほど寒いや」

急いで、そこに疊んであつた褞袍をとつて、シャツの上へ被つた。

「お風呂が沸いてゐますのよ」

「さうか、よしッ」

二郎は暖かい湯槽の中の快感を思ひ出して、すぐ跳躍でもするやうに、元氣に跳ね起きた。

「湯殿はおわかりでせう。お忘れにならないで。ほゝほゝ」

兎子は陽氣な笑聲を殘して出ていつた。

二郎が兵兒帶を締めてゐると

「お疲れは休まりまして……」

兎子と入れ違ひに千鶴子が、甲斐々々しいエプロンがけで、遠慮つぽく入つてきた。

「やあ、今朝ほどはお世話さま」

「あら、あんなこと……」

千鶴子は、淑かな笑ひに打消して、

「お床を上げさせていただきますわ」

臥床を上げにかかつたが、二郎が出て行かうとすると、

「あの、お風呂でしたわね」

「氣持よく、醉氣をさましてくるよ」

「おや、お手拭を出しますわ……」

千鶴子は二郎の後から、湯殿に附隨した脱衣室まで從いてきて、もう脱衣の上に揃へてある新しいタオルと、齒ブラシと、練齒磨のチューブとを渡し、

「これ、お兄さんの揃へておきましたから、ずつとお使ひくださいますやうに、石鹸は中にございますから」

「いや、有難う」

二郎は出てゆく、千鶴子を見送つて、いかにも行屆いた心遣ひに感心しながら、そこでも、さつきの兎子の浮はついた態度と、思ひ比べながら、着物をぬいだ。

まだにタイルを用ひた昔ながらの板敷の湯殿だつたが、二郎にはそれも懐しいものの一つだつた。

古風な木製の湯槽だつたが、滿々とたたへた新湯は透き通るやうに底を見せて、快よい乳色の湯氣を立ててゐた。さう言へば、板敷の床も湯槽の周圍も、磨き立てたやうに掃除が行き屆いて、木質の優れてゐるせいもあるが、安價なタイルの湯殿などより、遙か奥床しい清潔感をそそられた。

女中の手もないとすれば、こんな掃除も、千鶴子がするのだらうか——

二郎が、こんなことを考へながら、湯槽の中に手拭ひを浸さうとしてゐると、

「あの、お加減は、いかがですか」

焚き口の方から、訊ねたのは、やはり千鶴子の聲だつた。

俳句　山本孕江選

うらゝかや模型飛行機とばす子等　臺北　馮錦添

看護助手募集

早乙女ら血書志願や島の春　淡水　前島江山

春空に飛機去り爆音たなびきこゆ　宜蘭　楊原文瑞

北國の野のわが戰友よ月冴ゆる　臺北　谷口明宏

皇軍の武運を祈る宮参り　高雄　施石拾

[illegible]の冬闇るる　[illegible]　兒島雲星

[illegible]てゆたかた月朗り　新竹　霜田久子

志願兵志願

兵となる道ひらかれて春立ちぬ　淡水　[illegible]

ゼネラルカーボン紙
ミカドカーボン紙
總販賣店 清水大氣堂 臺北市京町一丁目

にきび・そばかす・しみ取
藥用クレーム
アモンパパヤ
[illegible]

臺北市東門町一三〇 光永呉服店 電話八三七四番

特許の冷藏庫製作修繕 實用本意 八木冷藏庫 [illegible]

臺北市宮前町九〇 永豐炭礦公司 代表者 張聰明

臺北市榮町三ノ九 綜合秋本商店裝飾部 代表社員 秋本雄一

珊瑚加工販賣部 臺灣物產卸 貿易部 岩田サンゴ物產店 支店 基隆 [illegible]

臺北市榮町四丁目 株式會社西村商會 電話[illegible]

仰げよ武勲・捧げよ感謝 ★ 祝陸軍記念日 至誠奉公・乘切れ時局

洋服地販賣 臺北市大和町一丁目 逢坂商行 高雄支店 [illegible]

眼鏡專門 臺北郵便局前 和田メガネ店 廣東支店 [illegible]

臺北市榮町三ノ一二 秋本蒲團店 電話[illegible]

ラジオと電氣器具 電力節約特許昭光電球 南國商會 臺北市御成町四ノ七

病源療法藥 臺北市大和町三ノ一 ドラミン臺灣總發賣所 全島有名藥店ニアリ

內地土産の果物は 臺北市本町[illegible] 矢野商店 神戸支店 [illegible]

臺北市京町二丁目 臺灣鋼材配給株式會社 電話[illegible]

錦記製茶株式會社

本社 [illegible] 高砂紡毛株式會社

ボールトナット 錨釘類製造 臺灣錨釘工業株式會社 臺北市下奎府町四ノ六四 電話[illegible]

臺北市宮前町 臺灣オフセット印刷株式會社 電話[illegible]

臺北市宮前町九六番地 國產スレート株式會社 電話五二三二番

強力メタボリン發賣元 臺灣武田藥品株式會社 臺北市本町三丁目 電話五五八一番

佐土原商事株式會社 臺北市大和町

東洋コンクリート株式會社 臺北市[illegible] 社長 飯田清

陸船用重油機關 諸機械器具 株式會社中田製作所 臺北市[illegible]町一六四

登錄商標 日本醬油株式會社 臺北市[illegible]

臺灣ヤスリ株式會社 [illegible]

模型飛行機 各種部分品及工作工具類 寶山商會模型飛行機部 臺北市御成町二ノ一〇

勝つたこの日に感謝と覺悟・三月十日は陸軍記念日
大東亞戰爭 同時封切・20CM破壞篇 新しき翼・
人類史上に一新紀元を劃せる大和民族の逞しき前進!! 海に陸に空に勇猛將兵と共に進撃せる[illegible]
撃滅戰記
「全九巻」
東寶直營國際館

10・11・12日公開
壯烈鬼神も哭く白神事件の全貌
白神事件
家なき天使
臺劇
70錢 120錢

輝く大戰果を永久に記念する特別計畫！
附錄 ハワイ大海戰圖
新聞一頁大多色印刷
キング 三月號 お早く（五十錢）
大東亞戰爭の決勝點はどこか
二億總出陣の命下る
民族力の強化を語る座談會
奉天會戰と大山元帥
海軍某提督が涙で語る一大秘錄
空の武士道
マレー從軍記
インドの叫び
大懸賞當選（賞金三千圓）
時局小說 明日の課題 戶澤みどり
アギナルド將軍
樋口一葉の師
給水隊戰記
國は呼ぶ
街の戰友
家
地球の屋根